

**教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書
(平成27年度対象)**

**平成28年9月
川越市教育委員会**

目 次

I はじめに	1
II 点検及び評価の実施方法	2
III 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について	2
IV 学識経験者の知見の活用	2
V 施策評価の基準	3
VI 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」	4
VII 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」	5
VIII 川越市教育振興基本計画「施策評価総括表」	7
IX 川越市教育振興基本計画「施策評価推移」	8
X 川越市教育振興基本計画「施策評価一覧」	9
XI 進行管理（点検評価）シート	13
方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進	14
方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進	54
方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造	76
方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進	86
方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進	92

I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づいた川越市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った結果についてとりまとめたものです。

教育委員会は、市長から独立した立場で教育行政に関する基本方針のもと、学校教育や社会教育など広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

平成 19 年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会が事前に策定した「基本方針」にそって具体的な教育行政事務が管理及び執行されているかについて、教育委員会自らが点検及び評価を実施し、その点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされました。

川越市教育委員会は、平成 23 年 2 月に策定した川越市教育振興基本計画の施策について、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を教育に関する学識経験を有する方々の知見を活用し実施いたしました。

川越市教育委員会は、この点検及び評価の結果及び知見者の方々からいただいたご意見を生かし、計画的かつ効果的な教育行政を推進してまいります。

<参考>

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律<抄>

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

なお、平成 23 年度評価対象から川越市教育振興基本計画の施策を点検及び評価の対象とし、川越市教育振興基本計画の進行管理の点検評価も併せて、報告書としています。平成 22 年度から文化及びスポーツに関する事務は、教育委員会から市長部局に移管されておりますが、参考として文化及びスポーツに関する事務は、市長部局において点検・評価を行ったものを併せて、報告書に掲載しています。

<参考>

○川越市教育振興基本計画第 3 章「計画の推進」

計画を効果的に推進するため、主要な施策の目標値を設定するとともに、学識経験者の知見を活用し、事務事業の点検評価を実施することにより、計画の進行管理を行います。その結果を踏まえ必要に応じ、施策の見直しを行いながら計画を推進します。

Ⅱ 点検及び評価の実施方法

川越市教育振興基本計画は、5つの方向性（基本方針）を基に、39 項目の施策の柱と 106 項目の細施策で構成されており、施策の成果を表す目標値として 42 項目を掲げています。点検及び評価は、106 項目の細施策を単位とし、42 項目の目標値や細施策の事業等の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善の方策を示します。そして、39 の施策の柱ごとに、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

Ⅲ 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について

- ・「指標の推移」については、平成 27 年度末において達成を目指す施策の目標値（指標）42 項目において成果や達成度を測るために、指標及び説明とともに平成 27 年度までの実績値を掲載しています。
- ・「成果実績」については、施策の目標値を持たない 42 項目以外の施策について、平成 27 年度までの成果実績を数値化し、実績値及び達成状況の把握を行います。

Ⅳ 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の実施にあたっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」に関して、下記の 3 名からご意見をいただき、点検及び評価の内容に反映させていただきました。

氏 名	役 職
成 松 恭 平	敬愛大学教授
町 田 綾	川越市 PTA 連合会会計
水 谷 薫	元川越市立小学校長

V 施策評価の基準

各細施策、施策の柱の点検及び評価は、次の4区分により達成度の評価を行う。

A 施策、事業の達成度、進ちよくが順調である。

目標値に対し達成度が非常に高い。

目標値の場合、基準値(平成21年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が80%以上。

B 施策、事業の達成度、進ちよくがおおむね順調である。

目標値に対し達成度が高い。

目標値の場合、基準値(平成21年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が60%以上80%未満。

C 施策、事業の達成度、進ちよくがあまり順調でない。

目標値に対し達成度がやや低い。

目標値の場合、基準値(平成21年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%以上60%未満。

D 施策、事業の達成度、進ちよくが順調でない。

目標値に対し達成度が低い。

目標値の場合、基準値(平成21年度)を基本とし目標値から見て実績値の達成状況が40%未満。

○目標値は、その施策の目標・目的の中で数値化できるものを表したものです。

施策の評価は、指標の進ちよくだけでなく、その他の事業実績等も包含した上で総合的に評価しています。

VI 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況総括表」

方向性	施策数	施策の 柱 数	細施策数(うち 指標設定のない 細施策数)	目標値の ある指標数	現時点で 目標を 達成済	未達成	
						H26年度より 改善が見られ ている指標	H26年度より 改善が見られ ていない指標
方向性Ⅰ	2	20	53 (42)	11	9	0	2
方向性Ⅱ	3	10	28 (16)	14	7	4	3
方向性Ⅲ	1	4	14 (6)	13	8	1	4
方向性Ⅳ	1	3	7 (5)	2	0	2	0
方向性Ⅴ	1	2	4 (2)	2	0	0	2
合 計	8	39	106 (71)	42	24	7	11

(注) 『達成状況一覧』は、5・6ページに掲載されています。

Ⅶ 川越市教育振興基本計画の施策目標値「達成状況一覧」

方向性	施策	担当課	指標	名	単	位	現在値 (H21)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	目標値	達成状況 及び傾向	
								実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	H27		
I	1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進	教育指導課	中学校の不登校出現率	%			3.33	2.63	2.59	2.17	1.97	2.18	2.81	2.75		
		教育センター分室(リベール)	さわやか相談員がかかわりを持ち、解決した割合	%			66.8	82.9	84.0	84.2	86.6	87.3	85.0	75.0		
		教育センター	教職員の研修参加回数	回			4.1	4.4	5.1	5.2	4.9	4.8	5.5	4.4		
		教育センター	授業におけるICT(情報通信技術)活用授業回数	回			28	32.2	36.8	34.1	43.2	51.1	67.8	35		
		教育センター	情報モラルに関する指導ができる教員の割合(文部科学省及び川越市独自調査)	%/校			66	75	76	77	80	90	87	80		
		中央図書館	図書館司書による学校訪問等の回数(校数)	回			20	32	32	32	32	32	32	32	32	
				校			20	32	32	32	32	32	32	32	32	
		中央図書館	学校への団体貸出数	冊			5,725	6,886	5,158	5,059	6,440	7,833	8,494	8,000		
	教育指導課	新体力テスト総合評価(5段階)で3段階以上の割合	%			82.6	83.2	83.7	85.0	84.6	84.9	84.4	90.0			
	2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実	教育財務課	学校施設の耐震化の推進	%			63	76	93	100	100	100	100	100		
		教育財務課	大規模改造工事の推進	%			44	52	54	55	57	59	61	59		
		学校給食課	学校給食における地場産物の使用拡大	%			19.3	8.8	19.1	19.6	21.4	8.1	22.9	20.0		
	II	1 家庭・地域の教育力の向上	地域教育支援課	子どもサポート事業への参加者数	人			11,105	15,409	22,196	33,696	32,848	32,935	41,765	15,000	
			地域教育支援課	学校応援団の活動数	件			107	138	144	225	569	592	1,725	216	
地域教育支援課			ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合	%			82.5	85.7	84.1	89.0	90.8	82.4	85.6	85.0		
2 生涯にわたる学習活動の推進		文化芸術振興課	生涯学習センターの設置	館			0	0	0	0	0	1	1	1		
		中央公民館	町内公民館講座の開設数	講座			69	74	81	85	79	87	87	70		
		中央公民館	生涯学習事業参加者数	人			93,530	98,402	111,700	110,970	111,513	108,030	116,194	135,000		
		地域教育支援課	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	人			3,798	3,766	3,813	4,000	3,972	3,775	3,844	4,000		
3 生涯学習環境の整備・充実		中央図書館	蔵書数	冊			799,883	805,270	812,526	820,239	827,797	836,315	843,893	860,000		
		中央図書館	大学図書館との連携	校			1	1	1	1	1	1	1	2		
		博物館	博物館の入館者数	人			89,022	77,163	90,746	94,318	91,357	98,205	98,025	100,000		
		博物館	博物館の収蔵資料点数	点			35,850	35,972	36,644	37,031	37,573	37,746	37,816	40,000		
		博物館	博物館の講座・教室の参加者数	人			3,194	2,970	3,000	3,776	3,691	3,589	3,925	3,400		
		博物館	教育課程に位置付けた博物館活用の学校数	校			268	275	324	321	338	358	354	300		
	文化芸術振興課	川越シティカレッジの開催【※平成24年度より川越大学間連携講座の開催】	回			5	6	6	2	4	4	3	6			

方向性	施策担当課	指標名	単位	現在値 (H21)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	目標値	達成状況 及び傾向	
					実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	H27		
Ⅲ	1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実	文化財保護課	指定等文化財数	件	246	250	252	256	257	264	266	255	
		都市景観課	伝統的建造物の修理件数累計	件	34	38	41	46	51	57	61	55	
		文化財保護課	河越館跡地の史跡公園整備率	%	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	78.0	
		文化財保護課	国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計	件	0	1	2	1	1	1	1	5	
		文化芸術振興課	若い世代の参加事業の取組	回	0	0	1	2	2	2	2	2	
		美術館	教育普及ボランティアの活動実施	回	0	20	26	49	62	40	54	20	
		美術館	市民ギャラリーの利用促進	週稼働	45	49	42	51	49	49	49	47	
		美術館	創作室の利用促進	稼働率 / %	46.6	44.0	43.0	43.9	47.1	49.0	40.2	65.0	
		美術館	ジュニア アートスクエアの開催	回	0	9	12	12	10	12	12	12	
		美術館	川越市立中学校美術部の祭典の開催	校	17	17	18	20	21	20	21	20	
		美術館	小中学生県特選美術作品展の開催	人	367	360	313	330	274	823	329	700	
		文化芸術振興課	文化芸術の支援	事業	4	5	6	7	7	6	6	5	
		文化芸術振興課	文化施設の利用者数	人	593,643	569,301	537,052	590,295	555,479	580,107	436,240 (734,053)	1,000,000	
Ⅳ	1 多文化共生と国際交流・協力の推進	国際文化交流課	国際交流センター利用人数	人	84	73	68	64	56	55	57	120	
		国際文化交流課	姉妹都市（海外）間の交流数	件	3	5	3	8	10	8	9	14	
Ⅴ	1 生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブの設置数	件	2	2	2	3	3	3	3	5	
		スポーツ振興課	スポーツ実施率（成人の月1回以上のスポーツ実施率）	%	46.8		65.2	47.9	67.8	63.5	47.2	60	

※文化施設の利用者数は、川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール・川越市立美術館の利用者数。
（ ）内は川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設の利用者数を加えたもの。

（注）達成状況及び傾向についての見方

指標の改善傾向	内 容
	目標が達成されている指標
	H26年度より改善が見られている指標
	H26年度より改善が見られていない指標 （数値が変わらなかったもの）
	H26年度より改善が見られていない指標 （数値が減少・悪化したもの）

Ⅷ 川越市教育振興基本計画 「施策評価総括表」

方向性	施策数	施策の 柱 数	総合評価内容				(施策の柱) 施策評価内容				細 施 策 数	(細施策) 施策評価内容			
			A	B	C	D	A	B	C	D		A	B	C	D
方向性 Ⅰ	2	20	9	11	0	0	9	11	0	0	53	20	33	0	0
方向性 Ⅱ	3	10	6	4	0	0	6	4	0	0	28	15	11	2	0
方向性 Ⅲ	1	4	2	2	0	0	2	2	0	0	14	7	6	1	0
方向性 Ⅳ	1	3	1	2	0	0	1	2	0	0	7	2	5	0	0
方向性 Ⅴ	1	2	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0	4	0	0
合計	8	39	18	21	0	0	18	21	0	0	106	44	59	3	0

Ⅸ 川越市教育振興基本計画「施策評価推移」

年度	施策数	施策の 柱数	総合評価内容				(施策の柱) 施策評価内容				細 施 策 数	(細施策) 施策評価内容			
			A	B	C	D	A	B	C	D		A	B	C	D
23	8	39	8	26	5	0	8	26	5	0	106	26	62	17	1
24			13	23	3	0	13	23	3	0		30	64	11	1
25			14	23	2	0	14	23	2	0		34	64	7	1
26			14	24	1	0	14	24	1	0		39	60	7	0
27			18	21	0	0	18	21	0	0		44	59	3	0

X 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

施策1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 確かな学力の育成	B	B	B ①学力向上対策の推進	14	教育指導課
			B ②市独自の少人数学級編制の推進 (平成25年度より、各学校の課題に応じた学校支援事業の推進として実施)	14	学校管理課
(2) 教育に関する3つの達成目標の推進	B	B	B ①学力(読む・書く・計算)向上の推進	16	教育指導課
			B ②規律ある態度の育成	16	
			B ③体力向上の推進	17	
(3) 校種間連携の推進	B	B	B ①小学校・中学校連携の推進	18	学校管理課
			B ②中学校・市立川越高等学校連携の推進	18	
			A ③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	19	教育指導課
(4) 生徒指導の充実	A	A	B ①道徳教育の充実	20	教育指導課
			B ②いじめ・不登校対策の推進	20	
			A ③教育相談の充実	21	教育センター分室(リベール)
			A ④関係機関との連携事業	21	教育指導課
			A ⑤いきいき登校サポートプランの推進	22	教育センター分室(リベール)
(5) 進路指導・キャリア教育の充実	A	A	A ①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	23	教育指導課
(6) 科学体験活動の推進	A	A	A ①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進	24	教育指導課
(7) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	B	B	B ①学校評議員制度の充実	25	学校管理課
			A ②地域人材活用事業の充実	25	
			B ③日本語指導ボランティアの充実	26	
(8) 教職員の資質向上	B	B	A ①経験・職能別研修の充実	27	教育センター
			B ②管理職等研修の充実	27	学校管理課
			B ③奨励研修の充実	28	教育センター
			B ④かわごえ異業種体験研修事業の推進 (平成27年度より、かわごえミドルリーダー研修の推進として実施)	28	学校管理課
			B ⑤大学等進学指導力向上研修の推進	29	
(9) 特別支援教育の充実	B	B	B ①就学支援委員会の充実	30	教育センター分室(リベール)
			B ②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	30	
			B ③特別支援教育の理解・啓発の推進	31	
			B ④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	31	
(10) 英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	B	B	B ①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	33	教育センター
			B ②小学校外国語活動の推進	33	
			B ③中学校英語教育の充実	34	
			B ④国際理解教育の推進	34	
(11) 情報教育の推進	A	A	A ①ICT教育の推進	36	教育センター
			A ②情報モラル教育の推進	36	
			B ③コンピュータ施設・設備の充実と活用	37	
(12) 読書活動の推進	A	A	A ①読書活動啓発推進事業	38	教育指導課
			A ②図書館司書による読書活動の推進	38	中央図書館
			A ③図書館から学校への団体貸出の推進	39	
(13) 健康の保持増進と安全・体力向上の推進	B	B	A ①学校保健活動の推進	40	教育指導課
			B ②安全・安心の推進	40	
			B ③体力向上の推進	41	
(14) 学校の評価充実	B	B	B ①人事評価の充実	42	学校管理課
			B ②学校評価の充実	42	

X 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

施策2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 学校施設の整備・充実	A	A	A ①学校施設の耐震化の推進	44	教育財務課
			A ②大規模改造工事等学校施設の整備の推進	44	
(2) 小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化	B	B	B ①小・中学校の通学区域・規模等の検討	46	学校管理課
(3) 学校図書館の充実	A	A	A ①司書教諭・図書整理員の配置	47	教育指導課
			B ②蔵書の充実	47	
(4) 学校給食の充実	A	A	B ①食育の推進	49	教育指導課
			A ②給食内容の充実	49	学校給食課
			A ③学校給食施設の整備	50	
(5) 市立川越高等学校の改革・充実	B	B	B ①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	51	市立川越高等学校
(6) 教育センターの充実	A	A	A ①教育センターの整備・開放の充実	52	教育センター
			B ②家庭・地域との連携研修の充実	52	

方向性II 活力ある地域を創る生涯学習の推進

施策1 家庭・地域の教育力の向上					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 家庭への支援	A	A	A ①家庭教育の充実	54	地域教育支援課
			B ②学童保育の充実	54	教育財務課
(2) 地域の教育力の向上	A	A	A ①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	56	地域教育支援課
			A ②学びを支援するシステムの整備	56	
			A ③社会教育関係団体への支援	57	

施策2 生涯にわたる学習活動の推進					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 生涯学習推進体制の確立	A	A	A ①生涯学習推進のための拠点施設設置	58	文化芸術振興課
			A ②社会教育職員研修の充実	58	地域教育支援課
(2) 多様な学習機会の創設	A	A	A ①学習情報の提供システム整備	60	文化芸術振興課
			A ②生涯学習に関する意識調査の実施	60	
			A ③町内公民館講座の開設支援	61	中央公民館
(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供	B	B	B ①ライフステージにおける課題の学習	62	中央公民館
			B ②現代的課題の学習	62	
			A ③地域の教育活動を支援	63	
(4) 人権教育の充実	A	A	A ①学校教育における人権教育推進事業	64	地域教育支援課
			B ②人権啓発活動の推進	64	
			B ③人権教育指導者の養成	65	
			A ④関係機関・団体等との連携	65	

施策3 生涯学習環境の整備・充実					
施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実	B	B	C ①公民館の設置	67	地域教育支援課
			B ②既存公民館の整備・充実	67	中央公民館
(2) 図書館サービス網の整備・充実	B	B	A ①図書館サービス網の充実	69	中央図書館
			B ②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	69	
			C ③図書館を活用した学習活動の推進	70	
(3) 博物館の整備・充実	B	B	B ①展示機能の充実	71	博物館
			B ②郷土資料の収集・保存	71	
			A ③教育普及と事業の充実と学校教育との連携強化	72	
			B ④博物館・蔵造り資料館の整備	72	
(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進	A	A	A ①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)	74	文化芸術振興課
			B ②大学と連携した人材の育成	74	

X 川越市教育振興基本計画 「施策評価一覧」

方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

施策1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用	B	B	A ①文化財の保護と活用	76	文化財保護課
			B ②文化財保護意識の啓発	76	
			B ③民俗文化財の保存と後継者の育成	77	
			A ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	77	都市景観課
			A ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	78	文化財保護課
			C ⑥河越館跡地等の整備・活用	78	
(2)川越らしい文化芸術の振興	A	A	A ①連携・協働による新たな文化芸術の創造	80	文化芸術振興課
			A ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	80	
			B ③特色ある文化芸術拠点の整備	81	文化芸術振興課 美術館
(3)文化芸術に触れる機会づくり	B	B	B ①文化芸術が身近にある環境づくり	82	美術館
			B ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	82	
(4)文化芸術活動への支援と交流の促進	A	A	A ①文化芸術活動への支援	84	文化芸術振興課
			A ②文化芸術活動の場の整備	84	
			B ③文化交流の促進	85	文化芸術振興課 国際文化交流課

方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)行政の国際化	A	A	A ①共生意識を醸成するための相互理解の推進	86	国際文化交流課
			B ②留学生の支援	86	
(2)国際感覚に優れた市民の育成	B	B	A ①人材の開発と育成	88	国際文化交流課
			B ②NGOなどとの協力と連携	88	
			B ③地域の国際化推進体制の整備	89	
(3)姉妹都市交流の更なる充実	B	B	B ①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	90	国際文化交流課
			B ②新しい地域、都市との交流創出	90	

方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進

施策1 生涯スポーツの推進

施策の柱	総合評価	施策評価	細施策	掲載ページ	担当課
(1)スポーツ活動の推進	B	B	B ①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	92	スポーツ振興課
			B ②スポーツ教室・大会等の充実	92	
(2)スポーツ環境基盤整備	B	B	B ①スポーツ指導者等の養成・活用	94	スポーツ振興課
			B ②スポーツ施設等の整備・充実	94	

※網掛け は文化スポーツ部
 ※網掛け は都市計画部

XI 進行管理(点検評価) シート

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(1)確かな学力の育成			担当課	担当課評価
細 施策	①学力向上対策の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上検討委員会(平成26年度より学力向上研究委員会)において、本市の児童生徒の学力の現状と課題を把握しながら新学習指導要領への対応を図ります。 ・児童生徒の家庭学習の習慣化や学力向上への具体的な取組を指導し、学力向上を推進していきます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市小・中学生学力向上プランの趣旨を踏まえ、市立学校の校長、教員で構成した小学校部会、中学校部会、学級経営部会を組織し、年間を通して学力向上研究委員会を開催しました。 ・本市独自の川越市児童生徒学習・生活状況調査を実施し、児童生徒の実態の把握に努めました。 ・各種学力調査の分析結果から指導の手立てを示し、教職員向けの教育情報誌を発行するとともに、「授業づくり」研修会を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	授業以外で1時間以上勉強する児童の割合(小学校5年生)(%)	41	42	39	
	授業以外で1時間以上勉強する生徒の割合(中学校2年生)(%)	55	51	53	
評価の理由	<p>学力調査の分析結果をもとに各教科の研究部会が検討した教育情報や具体的な指導方法等を各学校向けに提供することで、日々の授業の充実が図られており、おおむね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と各小・中学校が目標を共有し、児童生徒一人ひとりの学力向上に向けた計画的・継続的な取組を実施してまいります。 ・保護者との連携を図り、児童生徒の学びの基盤となる家庭学習の習慣化を推進していきます。 				

施策の柱	(1)確かな学力の育成			担当課	担当課評価
細 施策	②市独自の少人数学級編制の推進 (平成25年度より、各学校の課題に応じた学校支援事業の推進として実施)			学校管理課	B
施策の内容	<p>積極的な生徒指導を推進し、子どもたちの心の教育・学力向上・いじめの未然防止・少人数学級編制等、各学校におけるさまざまな課題を解決するため、市費による教員(オールマイティーチャー)を配置します。(オールマイティーチャーの配置は平成25年度から)</p>				
平成27年度実績	<p>校長の創意を生かした企画書に基づき、各学校の課題に応じて、市内の小学校3校に3人(うち1人は理科)、中学校10校に11人(国語1人、社会1人、理科5人、保健体育2人、美術1人、英語1人)の市費による教員を配置しました。これにより、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進することができました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	臨時講師配置状況(人)	11	13	14	
評価の理由	<p>各学校の課題に応じた活用により、きめ細かな指導ができました。配置校では教員が1人増員されたことにより、生徒指導主任や教育相談主任に機動力が生まれ、生徒指導体制の充実が図れました。これにより、いじめの発生件数の減少や未然防止、授業規律が図られたことによる学力向上等の成果を得たこと等、おおむね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>配置した学校での効果を検証しながら、必要とする学校に対し、各課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進していきます。</p>				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(1) 確かな学力の育成			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学力向上対策の推進	教育指導課	B	B	B
	②市独自の少人数学級編制の推進 (平成25年度より、各学校の課題に応じた学校支援事業の推進として実施)	学校管理課	B		
学識経験者等 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化については、子どもが家庭で学習したことに対して、先生からの評価などのフィードバックをしていただきたい。 ・オールマイティーチャーの配置については、要望がある学校には各学校1人は配置できるように充実を図っていただきたい。 				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①学力（読む・書く・計算）向上の推進			教育指導課	B
施策の内容	学習指導要領に基づき、読む・書く・計算の観点を中心に、子どもたちの学力の土台づくりを進め、小・中学校の連携を踏まえ家庭の協力を得た学力向上の推進を図ります。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上研修会を実施し、結果分析の仕方や研究資料の活用方法等について研修を進め、基礎的・基本的な学力内容を定着させました。 ・教育情報誌(小江戸川越寺子屋タイムズ)を計画的に発行し、全小・中学校に配布することにより、教員の指導力向上を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	小学校「読む・書く」、「計算」達成率90%以上の項目(各学年2項目×6学年)	12項目／12項目	—	—	
	中学校「読む・書く」、「計算」達成率90%以上の項目(各学年2項目×3学年)	4項目／6項目	—	—	
評価の理由	平成27年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果から、県との比較では国語・算数(数学)の全体の平均正答率がすべて県を上回っており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	川越市小・中学生学力向上プランを踏まえ、児童・生徒の思考力等の育成とのバランスを図りながら、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる取組を進めてまいります。				

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②規律ある態度の育成			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせます。 ・学校が家庭や地域と連携を密にし、思いやりや感謝の心、公共心、善悪を判断する力など、豊かな心を育みます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校においては校種間の連携を通して、学習の仕方や生活のきまり等について9年間を見通した生活習慣、学習習慣の定着に向けた取組を進めています。 ・多くの学校で「朝のあいさつ運動」を実施し、自校でのぼりを作る等の取組を進めています。 ・学力向上研究委員会学級経営部会で、規律ある態度を育成する手立てについて検討し、その情報を各校に伝えることで教職員の指導力の向上を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	小学校・規律ある態度達成率80%以上の項目(各学年12項目×6学年)	69項目／72項目	67項目／72項目	69項目／72項目	
	中学校・規律ある態度達成率80%以上の項目(各学年12項目×3学年)	34項目／36項目	34項目／36項目	34項目／36項目	
評価の理由	児童生徒質問紙調査の結果、ほとんどの項目で達成率が80%以上となっており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指導訪問等の機会をとらえ、各校の実態に即した取組を支援してまいります。 ・学級経営部会を計画的に実施し、具体策を検討してまいります。 				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③体力向上の推進			教育指導課	B
施策の内容	豊かな人間性や生きる力の重要な要素である基礎的な体力を向上させるために、家庭や地域との連携を図りながら、児童生徒の発達段階に応じた効果的な体力向上の取組を充実します。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度川越市児童生徒体力向上推進委員会で、体力向上全体研修会や授業研究会を実施し、体力向上広報紙「じゃんぷ」「川越市小・中学校新体力テスト一覧」、研究紀要「体力向上をめざして」を発行しました。 小中連携した効果的な授業の研究を進め、研究授業を通して効果の検証を図りました。 体力課題解決シートを活用し、体育授業の中に帯状に補強運動を取り入れた授業実践を広めることができました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	前年度より結果のよい種目(小学校)	上体起こし(男女) シャトルラン(男女)	上体起こし(男子) 長座体前屈(女子)	長座体前屈(男女) 上体起こし(女子)	
	前年度より結果のよい種目(中学校)	長座体前屈(女子) ボール投げ(女子)	握力(男女) 立ち幅跳び(男女)	反復横跳び(男女) 立ち幅とび(男子)	
評価の理由	運動時間の確保と運動する楽しさを重視した体育授業や朝マラソン等体育的活動が各学校の工夫のもとに展開されており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	業前・業間運動や体づくり運動の実施、ラジオ体操の推進、家庭や地域で日頃からスポーツに親しむ習慣づくり等、体力向上の効果的な取組を広く示し、各学校の工夫を凝らした取組を支援してまいります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(2)教育に関する3つの達成目標の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学力(読む・書く・計算)向上の推進	教育指導課	B	B	
	②規律ある態度の育成	教育指導課	B		
③体力向上の推進	教育指導課	B			
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある態度の育成については、子どもたちにやらせるのではなく、考えさせる取組を進めていただきたい。 体力向上の推進については、放課後に外で体を動かす場所の配慮をするなど、学校の中でも外でも運動をすることが習慣化するような取組を進めていただきたい。 				B

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①小学校・中学校連携の推進			学校管理課	B
施策の内容	<p>・市内全小中学校を、9ブロックに分け、それぞれのブロックごとに小中学校間の連携を一層進めてまいります。</p> <p>・校長のリーダーシップのもと、教育委員会からも指導主事を配置するなどサポートをしながら、課題を明確にして各学校で行ってきた連携の取組の見直しや改善を図り、学校教育の一層の充実・活性化を図ります。</p>				
平成27年度実績	<p>連携事業として、教員間では授業の参観及び研究協議等が行われ、教育課程や特別支援教育などの合同研修会が実施されました。児童生徒間では、小6の部活動体験や1日体験入学が中学校で実施され、音楽会や運動会等での交流も図られました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	中学1年生不登校者数(人)	35	47	53	
	中学1年生全体に占める不登校者数の割合(%)	1.29	1.67	1.89	
評価の理由	<p>中学1年生の不登校者数は、徐々に増加傾向にあります。増加の割合は抑えられています。また、合同研修会、授業公開・研究協議、連絡会・情報交換会などが、成果としてあげられ、各校が研修を通して教職員の指導力向上を図り、小中の系統を意図した学習指導、生徒指導等に取り組んでおり、おおむね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>多くの学校で課題ととらえられているのは、日程調整、時間と場の工夫です。今後、児童生徒間の新しい交流や小中9年間の系統性を意識した授業、指導計画づくりを含めた連携事業の改善・深化に努めます。</p>				

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②中学校・市立川越高等学校連携の推進			学校管理課	B
施策の内容	<p>・中学校と市立高等学校が一層連携し、双方の円滑な交流や相互理解、授業改善や教員の指導力向上に向けた取組を図ります。</p> <p>・「第二次市立川越高等学校将来構想懇話会」の報告結果を基に、中高一貫教育について調査研究を進めます。</p>				
平成27年度実績	<p>市立川越高等学校と近隣3中学校の平成27年度研究委嘱校間では、授業や体育祭などの学校行事の参観、高校教員による中学校での出前授業や進路に関する説明、中学生による上級学校訪問や生徒相互の部活動交流等を実施しました。中学生による高校の体験授業では、学年全体で参加することも行われ、連携が深められました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	教員・保護者間の交流活動件数(件)	15	19	28	
	生徒間の交流件数(件)	17	11	12	
評価の理由	<p>出前授業や体験授業、部活動の相互交流や合同練習などが積極的に取り込まれ、教員の意識も高くなり、おおむね順調に進ちよくしています。今後、より多くの市内各中学校との連携に拡大することが課題となっています。</p>				
改善の方策等	<p>平成27年度、より多くの中学校との連携が実施できるようブロックの見直しを行いました。系統的な学習指導・生徒指導・進路指導に生かす校種間連携を目指し、さまざまな取組を実施してまいります。</p>				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③幼稚園・保育園・小学校連携の推進			教育指導課	A
施策の内容	幼保小連絡懇談会を通して、幼稚園、保育園、小学校のそれぞれの役割の理解を深めるとともに、課題解決に向けた情報を共有するとともによりよい連携のあり方について話し合い、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマを「子どもの発達と学びの連続性をほぐくむ幼保小の連携」とし、「他者との関係を育む活動」に視点をあてて実践事例集を作成しました。 ・幼保小連絡懇談会を6会場で実施し、授業公開や実践事例集に基づいた協議を行いました。 ・各会場での記録を冊子にまとめ、関係者に配布するとともに、公民館等に閲覧用として配布しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	参加園・校数	104	105	103	
	参加人数(人)	216	214	215	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連絡懇談会に103の園・校が参加し、年間を通してテーマに基づき連携に取り組みました。 ・研究の視点を他者との関係を育む活動に絞ることで、幼保小の課題解決に向けた情報共有が可能となり、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	幼保小連絡懇談会の成果を各幼稚園・保育園・小学校へ周知し、今後も参加園・参加者の拡充を図り、幼保小の円滑な連携を図ります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(3)校種間連携の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①小学校・中学校連携の推進	学校管理課	B	B	
	②中学校・市立川越高等学校連携の推進	学校管理課	B		
③幼稚園・保育園・小学校連携の推進	教育指導課	A			
学識経験者等	幼稚園・保育園・小学校連携の推進については、幼稚園や保育園から小学校に進むときに、保護者にとって大きな段差を感じるのので、保護者に対する取組についても検討していただきたい。				B

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実						担当課	担当課評価
細 施 策	①道徳教育の充実						教育指導課	B
施策の内容	豊かな心を育む道徳教育の一層の充実と道徳的実践力の向上を、学校の教育活動全体で推進します。							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育推進教師研修会を年2回実施しました。 学校訪問で公開授業を実施し、授業や分科会の協議を通して指導力の向上を図りました。 							
成果実績	項目名(単位)	H25		H26		H27		
	教育に関する3つの達成目標・規律ある態度「整理整頓・あいさつ・やさしい言葉づかい・集団の場での態度・清掃美化活動」達成率80%以上の項目(各学年5項目)	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	
		29/30項目	15/15項目	29/30項目	15/15項目	30/30項目	15/15項目	
評価の理由	道徳教育推進教師研修会や学校指導訪問等を通して、指導力の向上を図ることができ、おおむね順調に進ちょくしています。							
改善の方策等	道徳教育推進教師を中心とした校内組織を整備するとともに、家庭・地域との連携した取組や「私たちの道徳」や埼玉県資料を積極的に活用し、道徳教育の充実を推進します。							

施策の柱	(4)生徒指導の充実						担当課	担当課評価
細 施 策	②いじめ・不登校対策の推進						教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 中学校1年生で急増するいじめ・不登校問題の対応については、小中連携を中心とした校種間連携の中で取組を推進します。 いじめ・不登校対策検討委員会を通して、具体的な取組を推進します。 							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> いじめ未然防止対策については、各学校の相談体制、校内いじめ対策委員会、アンケート実施、児童生徒の活動などの進ちょく状況を定期的に確認して取り組みました。 小中連携を中心とした校種間連携の中で定期的に学校訪問を実施することができました。 いじめ・不登校対策検討委員会を組織し、いじめや不登校問題の防止に向けたマニュアルやリーフレットを作成し、市内全教員へ配布しました。 ネットパトロール及びいじめ相談電子窓口を通年で実施し、23件の対応を行いました。 							
指標及び説明	【指標】 中学校の不登校出現率			【説明】 市立全中学校の生徒数のうち不登校生徒数の割合				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
	%	3.33	H22	H23	H24	H25	H26	H27
			2.63	2.59	2.17	1.97	2.18	2.81
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市いじめ問題対策委員会」を年間3回実施し、「川越市いじめの防止等のための基本的な方針」についてPDCAサイクルによる見直しを行いました。 市の方針を踏まえ、市立全小・中学校で「学校いじめ防止基本方針」の見直しを進め、いじめ問題への早期対応と、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図りました。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題の早期発見に向け、定期的に児童生徒アンケート及び保護者アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に万全を期してまいります。 川越市児童生徒連絡協議会と連携し、各学校の児童生徒が主体となったいじめ撲滅に向けた取組を推進してまいります。 							

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実							担当課	担当課評価
細 施策	③教育相談の充実							教育センター分室 (リベール)	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内全中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みを持つ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進します。 スクールカウンセラーや教育センター分室(リベール)の臨床心理士など、専門的知識を有する人材を活用し、小学校の児童、保護者に対する教育相談体制の充実を図ります。 								
平成27年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> 中学校に配置のさわやか相談員が、小・中学生や保護者等延べ12,111人の相談に対応しました。 週1回から2週間に1回の割合で県から配置されているスクールカウンセラーが、生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて7,358回の相談を行いました。 本年度からスクールソーシャルワーカーを導入し福祉関連機関との連携を図っています。 								
指標及び説明	【指標】 さわやか相談員がかかわりを持ち、解決した割合				【説明】 市内全中学校に配置したさわやか相談員が 受けた相談件数のうち解決した(相談が終了した)件 数の割合				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
	%	66.8	H22	H23	H24	H25	H26	H27	75.0
評価の理由	さわやか相談員が相談に応じ、解決した割合は85%と目標値を上回っています。また、平成27年度からスクールソーシャルワーカーを導入し、福祉関連機関との連携を図っています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を一層図り、学校、家庭、および福祉関連機関との連携を図るとともに、特に不登校や不登校傾向にある児童生徒、および保護者への支援の充実を図っていきます。 								

施策の柱	(4)生徒指導の充実							担当課	担当課評価
細 施策	④関係機関との連携事業							教育指導課	A
施策の内容	課題解決のために、教育センター分室(リベール)、庁内こども安全課、児童相談所、警察署等の関係機関と連携し、情報交換や対応策を検討します。								
平成27年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育センターと「いじめ・不登校対策検討委員会」を合同で組織し、「チーム連携を基盤とした不登校対応」に関する資料や「重大事態対応マニュアル」を作成しました。 児童虐待の問題に対して、児童相談所やこども安全課(平成28年度よりこども家庭課)と情報を共有するなど連携して対応しました。 児童・生徒の問題行動等に対して、川越警察署との連携を深め、各学校への支援体制を整備しました。 スクールサポーターの配置を要請し、1校に配置されました。 学校・地域・警察関係者による「いじめ・非行防止ネットワーク」(旧サポートチーム)が9校(小学校1校、中学校8校)で組織されました。 								
成果実績	項目名(単位)		H25	H26	H27				
	サポートチームの編成数(校)		9	11	9				
評価の理由	児童生徒の諸問題等に対し、教育委員会が関係機関等との連携を積極的に行うことで円滑な対応が図られ、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 指導上配慮を要する児童生徒について予め情報交換を行うなど、日常的に関係機関との連携を図ります。 生徒指導上の多様な課題への対応について、各学校の取組を取りまとめ、指導の手立てを広める等、迅速に問題解決が図れるようにします。 各学校の実情に応じ、今後も関係機関との連携をさらに進め、学校と一体となった取組を行います。 								

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4)生徒指導の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤いきいき登校サポートプランの推進			教育センター分室 (リベール)	A
施策の内容	市内小中学校における不登校問題の解消に向けて、大学生による不登校児童生徒支援事業の「いきいき登校サポートプラン」を更に推進し、学校、専門家、地域が連携し、一体となった取組を進めます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は、20人のスチューデントサポーターが、延べ310回の活動を行いました。 臨床心理士を週1日、年間45日、教育センター分室に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を行いました。 平成27年度より導入のスクールソーシャルワーカーが学校、家庭、福祉関連機関と連携し、64件のケースに対応しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	活動した学生実人数(人)	19	20	20	
	活動回数(回)	320	342	310	
評価の理由	スチューデントサポーターの活動回数は300回を越えました。引きこもりなど難しいケースに対しても、対象児童生徒の状況に応じた活動を進め、何らかの形で学校復帰が図れた児童生徒の割合は78.3%となっています。				
改善の方策等	スチューデントサポーターの配置について、関係の大学と連携し、大学生への事前研修や活動中の学生への指導の充実を一層図るとともに、対応するケースによって、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さらにリベールの教育相談との連携を深めていきます。				

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(4) 生徒指導の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①道徳教育の充実	教育指導課	B	A	
	②いじめ・不登校対策の推進	教育指導課	B		
	③教育相談の充実	教育センター分室(リベール)	A		
④関係機関との連携事業	教育指導課	A			
⑤いきいき登校サポートプランの推進	教育センター分室(リベール)	A			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校対策の推進について、SNSの利用に関するトラブルが増えていると思うが、ネットの利用に関するマナーについて、学校での取組をさらに充実させるとともに、保護者向けの対応を進めていただきたい。 教育相談の充実について、スクールカウンセラーの配置は、身近な相談相手として子どもの心の支えになると思われるため、今後も強力に進めていただきたい。 				A

【方向性】 I 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(5)進路指導・キャリア教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりを大切にされた進路指導・キャリア教育の一層の充実に努めます。 ・中学校では、地域にある事業所や公共施設での体験活動を通して川越市中学生社会体験事業の充実を図ります。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導・キャリア教育研修会」を実施しました。参加者が作成したレポートを基に、自校のキャリア教育の現状や課題について、グループ協議を行いました。 ・川越市中学生社会体験事業を全中学校で実施し、事後のアンケート調査を行いました。その結果を、その後の指導に活用しました。 ・関係団体との連携を図り、本事業の運営を円滑に進めることができました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	協力事業所数(箇所)	795	822	865	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・事後のアンケート調査によると、「働くことの大切さや意味を考える機会となったか」「仕事をするために協力する大切さが理解できたか」「社会のきまりを守る大切さを理解できたか」「働くことの厳しさ、大変さを知ることができたか」の項目で、98%以上の生徒が肯定的な回答を示し、順調に進ちよくしています。 ・事業所へのアンケートでは、「職員にも大変やりがいがありました」「今回初めて受けさせていただきましたが、体験事業に参加させていただけて良かったです」等の意見が寄せられ、地域の中で本事業が円滑に浸透している様子が見られます。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験活動の事後指導を確実にを行い、体験を今後の生活に生かす視点を取り入れるようにしていきます。 ・受け入れ事業所側の要請に十分応えられるよう、日常における指導を重視します。 				

【方向性】 I 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(5)進路指導・キャリア教育の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	教育指導課	A	A	
学識経験者等意見	社会体験活動は、自分の身近な人ではない大人と係わりとともに、仕事の大変さなどを直接体験することで今後の進路等を考えていくよいきっかけとなるため、今後も進めていただきたい。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(6)科学体験活動の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生を対象に、小学生科学体験事業を実施し、講演会、実験実習、科学施設の見学や体験活動の取組を充実します。 ・理科実験助手派遣事業、小・中・大学連携理科ふれあい事業を充実させ推進します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生科学体験事業として、市内小学校6年生78人を対象に、1日目に講演会、2日目に実験・実習、3日目に日本科学未来館で体験学習を行いました。 ・理科実験助手派遣事業により、小学校12校に理科実験助手を派遣しました。 ・小・中・大学連携理科ふれあい事業を小学校11校・中学校2校で実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	理科実験助手派遣事業派遣数(校)	12(小:9 中:3)	16(小:10 中:6)	20(小:12 中:8)	
	小・中・大学連携理科ふれあい事業(校)	13(小:9 中:4)	16(小:14 中:2)	13(小:11 中:2)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・科学体験事業に参加した児童や小・中・大学連携理科ふれあい事業を実施した学校の児童生徒から、理科に対する興味・関心や知的好奇心が高まったという感想が寄せられています。 ・計画的に理科実験助手の派遣人数を拡大することで、理科授業の工夫・改善や理科室の環境整備等が進められており、順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・科学体験事業において、科学の講演会に係る講師や科学体験指導員による実験・実習指導の充実を図り、児童生徒の理科に関する知的好奇心や探究心を深めるようにします。 ・小学校に理科実験助手を計画的に派遣し、市内小学校の実験準備を円滑にするとともに教員の指導技術を高められるようにします。 ・小・中・大学連携理科ふれあい事業において、大学との連携を積極的に進め、児童生徒の理科に関する興味・関心を広げるようにします。 				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(6)科学体験活動の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進	教育指導課	A	A	
学識経験者等	小学生科学体験事業については、参加した児童だけではなく、参加しなかった児童も理科や科学に興味を持ったり、さらに関心が高まるきっかけとなるよう、体験事業参加後の学校へのフィードバックについても配慮していただきたい。				

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校評議員制度の充実			学校管理課	B
施策の内容	学校は、学校評議員に学校の現状と課題について情報提供を行い、情報の共有化を図るとともに、保護者や地域住民から信頼される学校経営ができるよう学校評議員制度の充実を図ります。				
平成27年度実績	学校の現状と課題に即して、積極的な意見交換のもと、活発な話し合いによる学校評議員会議が実施されています。特に各学校の学校評価において、学校評議員が学校関係者評価の構成員である割合が大きく、開かれた学校づくりに寄与してると考えられます。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	学校評議員が学校関係者になっている学校	56/56	56/56	56/56	
	学校評価の公表率	56/56	56/56	56/56	
評価の理由	すべての市立学校で、ほとんどの学校評議員が学校関係者における評価者になっており、学校経営に関わる情報の共有化が図られています。学校は、保護者や地域住民等の意見の把握、反映だけでなく、学校運営の状況等を周知するなど、おおむね順調に進ちよくしています。今後、更に結果を公表する場や機会を増やしていく必要があります。				
改善の方策等	各学校で教育活動等について計画的に自己評価を行い、その結果を公表するとともに、多様な意見を幅広く広め、学校経営に生かすために積極的な情報提供を行っていきます。				

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②地域人材活用事業の充実			学校管理課	A
施策の内容	小・中・特別支援学校が、特色ある学校づくりを推進していくため、多様な体験活動が展開できるように関係団体や地域の方々と連携し、地域人材活用事業の一層の充実を図ります。				
平成27年度実績	市立小中学校53校が、トータルで391回、40団体と個人併せて604人の地域人材からそれぞれの学校において必要な支援をいただきました。児童生徒は、地域人材との交流によって、豊かな体験を得るばかりでなく、表現力やコミュニケーション能力を伸ばすことができました。年度当初予定回数275回に対して142%の実績で、十分に活用が図れました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	活用回数(回)	220	401	391	
評価の理由	各学校からは、地域人材活用に対する期待が高く、活用回数を増やしたい意向です。平成27年度は、学校の実態や地域人材の活動状況等に応じて適宜、活用の追加承認を行い、年度当初予定回数以上に執行できました。順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も、学校評議員及び日本語指導ボランティアに対する報償金の執行状況を的確に把握し、予算を適切に振り分け、地域人材の活用回数をできるだけ増やすことによって、更に各校の特色ある教育活動の充実を図ります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③日本語指導ボランティアの充実			学校管理課	B
施策の内容	各学校に在籍する外国籍の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進し、日本語指導、学校生活への適応指導の支援など、日本語指導ボランティアの充実を図ります。				
平成27年度実績	平成27年度は、市立小中学校22校に在籍する外国籍等の児童・生徒で、日本語指導ボランティアの申請があった46人中、42人に対してボランティア21人を週1～2回派遣しました。派遣回数は延べ629回でした。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	申請受付数(人)	43	36	46	
	日本語ボランティア派遣児童生徒数(人)	30	33	42	
評価の理由	日本語指導ボランティアを派遣することによって、該当児童生徒が授業内容の理解を深め、また、周囲とのコミュニケーションをとる上で手助けとなる支援と指導を行うことができました。しかし、昨年度よりも増えたものの児童生徒が必要とする回数の派遣ができないことが課題として挙げられます。				
改善の方策等	今後、日本語指導を必要とする外国籍等の児童生徒が増え、またその母語の多様化によって求められる日本語指導ボランティアが指導することのできる言語も多様化していくことが予想されます。これらに対応できるよう効率的な派遣方法や人材確保のため、関係機関との連携を図っていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(7) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校評議員制度の充実	学校管理課	B	B	
	②地域人材活用事業の充実	学校管理課	A		
③日本語指導ボランティアの充実	学校管理課	B			
学識経験者等意見	日本語指導ボランティアの派遣については、マニュアルのようなものが必要かどうか状況を見ながら事業を進めていただき、より効率的な派遣をお願いしたい。				B

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上						担当課	担当課評価
細 施 策	①経験・職能別研修の充実						教育センター	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る経験者研修の充実を図ります。 ・教職員の職務に応じた知識・技能等の習得を図る職能別研修の充実を図ります。 							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経験段階に応じた研修として、初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修等を計画的に実施しました。 ・職能別研修として、主幹教諭、教務主任、学校事務職員、栄養教諭・学校栄養職員、初任者研修拠点校指導教員、また、学校保健・道徳教育・特別支援教育・教育相談・学校図書館教育・情報教育・進路指導キャリア教育の各担当者研修会を開催するとともに、「授業力アップ研修会」を新設し、臨時的任用教員の指導力の向上を図りました。 							
指標及び説明	【指標】 教職員の研修参加回数				【説明】 教職員一人が1年間に研修に参加する回数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
	回	4.1	H22 4.4	H23 5.1	H24 5.2	H25 4.9	H26 4.8	H27 5.5
評価の理由	<p>研修体系と研修内容の見直しを行い、研修の充実を図りました。各経験者研修の人数が増え、教職員一人ひとりが一年間に研修に参加する回数も増加しました。また、学校のニーズに応じた新たな研修を実施することができました。</p>							
改善の方策等	<p>経験・職能別研修について、学校のニーズに応じた研修を重視し、経験に応じた資質・能力の向上を図っていきます。また、「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業づくりに向けた研修を取り入れるなど、質の向上に努めます。</p>							

施策の柱	(8)教職員の資質向上						担当課	担当課評価
細 施 策	②管理職等研修の充実						学校管理課	B
施策の内容	<p>教育に対する理念や識見を高め、管理職としてのリーダーシップを発揮できるよう管理職等研修の充実を図ります。</p>							
平成27年度実績	<p>校長、教頭を対象とした研修会を実施しました。(校長研修会、教頭研修会、一人ひとりを大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会、生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会等)。また、人事評価実施要領の改正に向け、教職員人事評価制度研修会を実施しました。</p>							
成果実績	項目名(単位)	H25		H26		H27		
	研修会の実施回数(回)	19		19		23		
評価の理由	<p>研修会に加え、学校訪問や人事評価におけるヒヤリング等において、各学校の管理職が、学校経営・学校運営に関する理解を深め、地域社会から信頼される学校づくりを目指し、リーダーシップを発揮している様子を確認することができ、おおむね順調に進ちよくしています。平成27年度は、人事評価制度の改正を見据え、人事評価の評価者としてのスキルを上げるための研修を充実させました。今後は管理職候補者についても学校運営等に関する見識を高めることが課題です。</p>							
改善の方策等	<p>事例研修や演習を取り入れるなど、日々の学校運営に生かせるような研修内容の改善を図ります。また、学校の組織力をさらに向上させていくために、校長を助け補佐する教頭や主幹教諭を対象とした研修会の充実を図ります。</p>							

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	③奨励研修の充実			教育センター	B
施策の内容	教職員の資質向上を図るために、教職員自らが希望して参加できる奨励研修の充実を図ります。				
平成27年度実績	平成27年度奨励研修に参加した教職員の人数は、延べ830人でした。研修内容の充実を図るため、大学教授をはじめ各分野における第一線の講師陣を迎え、次期学習指導要領改訂を見据えた学習・指導方法等、より専門性の高い研修会を実施しました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	講座数(回)	35	36	39	
	参加延べ人数(人)	867	815	830	
評価の理由	今日的な課題や学校のニーズに即し「総合的な学習の時間授業づくり研修会」「不登校児童生徒サポート研修会」「はつらつ先生に学ぶ授業力向上研修会」を新設しました。さらに、教職員が双方向で学び合い、高め合えるように研修内容を見直すことで研修の充実を図る等、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	・川越市教職員のより一層の資質・能力向上のため、研修体系の整備を図り、研修内容・研修方法の工夫改善に向けた見直しを継続的に進めます。特に「カリキュラム・マネジメント」や「アクティブ・ラーニング」の視点から研修内容・研修方法の充実を図ります。 ・積極的な研修参加に向けた啓発、情報発信を行います。				

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	④かわごえ異業種体験研修事業の推進 (平成27年度より、かわごえミドルリーダー研修の推進として実施)			学校管理課	B
施策の内容	学校経営の推進者として、教育に対する識見を高めるとともに、学校運営への積極的な参画を図り、管理職を補佐し、若い教員を牽引するミドルリーダーの育成を図ります。				
平成27年度実績	平成27年度は新規事業として35名の参加がありました。年間9回の研修をとおして、ミドルリーダーとしてベテランや若手教員に対して積極的にコミュニケーションをとることの必要性等や、学校運営に対する意識が高まったことが伺えます。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	参加教員数(人)	—	—	35	
評価の理由	平成27年度からの新規事業でしたが、参加者の学校運営への参画意識を高めるとともに、視野を広げることができました。さらに、平成27年度を受講生の中から、平成28年度中期研修を受ける者や管理職選考を受ける者もいたことから、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	5月下旬の開講式及び第1回研修会を皮切りに1月までに9回実施し、3年間で1サイクル、計27回の研修を計画しています。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤大学等進学指導力向上研修の推進			学校管理課	B
施策の内容	市立高等学校の教員を大学進学予備校や民間教育機関等の研修等に派遣し、学習指導力の向上を図るとともに、その成果を校内に波及させる大学等進学指導力向上研修の推進を図ります。				
平成27年度実績	平成27年度は、予備校における教員研修プログラムに、地理歴史科と英語科の4人の教員が参加しました。その成果を教科会で報告し、授業における改善、進学補習の工夫等に共通理解を図り、組織的な取組として成果を上げました。また、11月13日には授業公開を実施しました。 大学等の主な合格状況につきましても、立教大学、明治大学、法政大学、中央大学などの難関大学に合格するなど、成果を上げております。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	延べ研修参加教員数(人)	22	25	29	
	全教員数に占める割合(%)	48.9	54.3	63.0	
評価の理由	研修に参加した教員数・割合は増加し、おおむね順調に進ちよしておりますが、大学等の進学指導に直接かかわる5教科(国・社・数・理・英)の教員が中心となって参加していることもあり、全教員数に占める割合は60%台にとどまっております。				
改善の方策等	参加教員数の増加を図るなど、今後も積極的に取り組み、教員数・割合の向上を図ります。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(8)教職員の資質向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①経験・職能別研修の充実	教育センター	A	B	
	②管理職等研修の充実	学校管理課	B		
	③奨励研修の充実	教育センター	B		
	④かわごえ異業種体験研修事業の推進	学校管理課	B		
⑤大学等進学指導力向上研修の推進	学校管理課	B			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励研修の充実について、はつらつ先生のような授業が上手な先生の授業を見ることで、子どもを温かく見守っていく視点や考え方、方向性などについて、たくさんの先生に学んでいただくことが全体的な教職員の資質の向上に繋がると思うので、今後とも進めていただきたい。 ・研修が増えることで先生方が疲弊してしまい、本当に直面しなければならないことに対応できなくなるようなことがないようにしていただきたい。 				B

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①就学支援委員会の充実			教育センター分室 (リベール)	B
施策の内容	小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人ひとりのニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、専門医、学識経験者、教育関係者、行政経験者で構成する就学支援委員会の充実を推進していきます。				
平成27年度実績	就学相談が必要な幼児、児童生徒に対して、本人の観察や保護者との面談、諸検査の実施、学校・就学前施設からの聞き取り等を通して、児童生徒一人ひとりに合った学びの場の判断を行い、具体的な支援方法等について保護者に情報提供を行いました。就学支援委員会の判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、必要とする十分な情報提供を行い、適切な就学先を決定できるよう努めました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	就学支援委員会実施回数(回)	44	7	8	
	臨時の就学相談回数(回)	15	61	60	
	就学相談実施人数(人)	266	310	293	
評価の理由	定期的な就学相談のほか、相談の内容や重ねて相談が必要な状況に応じて、臨時の就学相談を実施しました。児童生徒について多くの情報をもとにした適切な就学先の判断や継続的な相談が進められており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援委員会の判断と異なる就学先を希望する保護者に対し、必要とする十分な情報提供を今後も行っていきます。 ・児童生徒の様子を適切に把握できるよう、就学前施設、小・中学校とより一層の連携を図ります。 				

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実			教育センター分室 (リベール)	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターを充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常学級における支援の推進に努めます。 ・通常の学級に在籍する軽度言語・聴覚障害や発達障害等のある子どもに対して、障害の程度に応じた指導を実施し支援の充実を図ります。 ・小・中学校に設置している特別支援学級の子ども一人ひとりの障害の特性等に配慮した指導・支援の充実を努めます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)・高機能自閉症等の発達障害やその傾向にある個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数も増えています。 ・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて週1～2日の範囲で、すべて自立支援サポーターを配置しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	対応した児童数(人)	805	970	1,252	
	対応した生徒数(人)	69	89	151	
評価の理由	各小中学校から、個別の支援を必要とする多くの児童生徒が報告される中、自立支援サポーターが該当児童生徒に対し、別室で個別指導を行ったり、クラスの中に入って活動の助言、支援を行いました。対象児童生徒との信頼関係を築きながら、個別の支援を進めています。				
改善の方策等	自立支援サポーター一人ひとりが、児童生徒の多様な状況に対応できるようにするため、支援の仕方に関する研修の充実を図ります。				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	③特別支援教育の理解・啓発の推進			教育センター分室 (リベール)	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童生徒理解のためのパンフレットを作成し、特別支援教育への理解と啓発の推進を図ります。 ・心のバリアフリーを育む交流及び共同学習等の充実を図り、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「就学相談セミナー」「発達障害セミナー」の開催により、セミナーに参加した保護者が、就学相談や教育相談を希望する等、児童生徒のよりよい成長のための支援の在り方を共に考えることができました。 ・特別支援学級の授業について関心のある保護者は多く、一人で数校の公開授業に参加する方がいる等、毎年約300人が申し込んでいます。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	「就学相談セミナー」「発達障害セミナー」参加者(人)	57	47	86	
	特別支援学級授業公開参観者(人)	274	299	292	
評価の理由	保護者向けセミナーや特別支援学級の授業公開日を設けることで、発達障害や特別支援教育、子供の就学について具体的に理解してもらうことができました。また、授業公開を行うことで、教員が積極的に研修を重ね、指導の工夫を図る等、資質の向上につながっています。				
改善の方策等	セミナーやリーフレットをさらに活用し、障害のある児童生徒の保護者だけでなく、一般市民にも理解を得られるような広報活動を積極的に行います。また、セミナーの内容について、参加する方のニーズに合わせた内容を工夫し、特別支援教育の理解を図ります。				

施策の柱	(9)特別支援教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	④市立特別支援学校のセンター的機能の充実			教育センター分室 (リベール)	B
施策の内容	市立特別支援学校が、保護者に対する相談活動や小・中学校等へのセンター的な役割が担えるよう支援体制の整備を推進します。				
平成27年度実績	市立特別支援学校のセンター的機能に基づき、14件の相談、研修等に対応しました。 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面接相談3件 ・特別な配慮が必要な児童生徒についての小中学校への指導援助4件 ・小中学校における配慮が必要な児童生徒への支援に関する研修会の実施3件 ・その他(介護等の体験事前指導、異校種体験教員受け入れ、巡回支援等)4件 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	特別支援学校のセンター的機能による対応数(件)	保護者 6 学校 8 研修 18 その他 4 合計 36	保護者 5 学校 15 研修 2 その他 11 合計 33	保護者 3 学校 4 研修 3 その他 4 合計 14	
評価の理由	特別支援学校としての専門性を生かし、地域の特別支援教育の推進を支援するセンター的機能を発揮し、保護者、小・中学校への指導援助や研修会を実施しています。平成27年度から、市の巡回相談を実施しており、センター的機能の活用について調整を図っています。				
改善の方策等	児童生徒への個別の関わり方や保護者への具体的な支援の仕方に加え、小中学校での教職員の資質の向上や校内体制の整備に努めます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(9) 特別支援教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①就学支援委員会の充実	教育センター分室(リベール)	B	B	B
	②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実	教育センター分室(リベール)	B		
	③特別支援教育の理解・啓発の推進	教育センター分室(リベール)	B		
	④市立特別支援学校のセンター的機能の充実	教育センター分室(リベール)	B		
学識経験者等	<p>・一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実については、障害者支援法の施行を注視しながら進めていただきたい。</p> <p>・通常学級の中で、発達障害のある子への対応について先生の理解があるのとないのとでは対応の仕方が全然違う部分が出てくるので、先生方が発達障害についての理解をする機会について検討していただきたい。</p> <p>・特別支援教育の理解・啓発の推進については、相互理解が大切だと思うので、保護者に対する広報活動などの情報発信の充実を図っていただきたい。</p>				B

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	担当課	担当課評価	
細 施 策	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	教育センター	B	
施策の内容	<p>・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、小・中・市立高等学校及び特別支援学校に配置されている英語指導助手の充実・推進を図ります。</p> <p>・小学校での学級担任教員との英語活動や中・高等学校での英語担当教員との共同授業において、英語指導助手をより効果的に活用できる配置を進めていきます。</p>			
平成27年度実績	<p>派遣契約の英語指導助手を1名増員し、現地採用4人、KET2人、派遣契約17人、合計23人の英語指導助手(AET)を配置しました。</p> <p>〈訪問実績〉 英語指導助手(AET)23人 小学校 963日 中学校 1,999日 市立川越高等学校 117日 合計3,079日</p>			
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27
	配置人数(人)	21	22	23
	1校あたりの年間訪問日数(日)	小27.3 中88.2	小30.93 中82.59	小30.00 中90.86
評価の理由	<p>派遣契約の英語指導助手を1名増員し、教員と英語指導助手の共同授業において英語指導助手を効果的に活用できる配置をし、おおむね順調に進ちよくしています。</p>			
改善の方策等	<p>質の高い英語指導助手(AET)の人数を段階的に増やしていくとともに、小学校英語科導入に向け、小学校に積極的に英語指導助手を配置していくように努めます。</p>			

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	担当課	担当課評価	
細 施 策	②小学校外国語活動の推進	教育センター	B	
施策の内容	<p>小学校5・6年生での外国語活動の時間に、英語ノートや川越市小学校外国語活動研究委員会が作成した資料を活用し、担任教師と英語指導助手が協力して、英語に親しむことのできる授業の充実・推進を図ります。</p>			
平成27年度実績	<p>・川越市小学校外国語活動研究委員会において、担任が授業ですぐに活用できるよう、文部科学省著作物「Hi friends!」の指導案例の英語版やCLASSROOM ENGLISH集を作成し、市内各学校に配布し活用を図りました。</p> <p>・小学校教員の英語力の向上を図るため、小学校外国語活動指導力向上研修会を2回実施し、市内全小学校の教員が参加しました。</p>			
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27
	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)	4.40	4.63	4.57
	小学校第5・6学年1学級当たりの英語指導助手(AET)の年間訪問回数(日)	4.85	5.56	5.48
評価の理由	<p>AETの一日の平均授業数は前年度とほぼ同じであり、積極的に活用が図られている状況にあります。小学校5・6年生だけでなく、他学年や特別支援学級、休み時間においてもAETが有効活用されており、おおむね順調に進ちよくしています。</p>			
改善の方策等	<p>計画的に英語指導助手の訪問回数や一日の授業数を増やすとともに、小学校教員に対する研修の充実を図り、担任教師と英語指導助手が共同して、児童が英語に親しむことのできる授業の充実・推進を図ります。</p>			

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③中学校英語教育の充実			教育センター	B
施策の内容	英語指導助手(AET)の効果的な活用、教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能のバランスを取りながら、体験的・実践的な英語教育の充実を推進していきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では英語担当教諭と英語指導助手(AET)との共同授業を通して、言語の使用場面や言語の働きに配慮したコミュニケーション活動を充実させ、生徒が主体的に取り組む授業づくりを推進しました。 ・英語科指導力向上研修会等を実施するとともに、英語指導助手活用実践事例集を作成し、具体的な指導方法や模擬授業を実施する研修を行い教員の指導力向上を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	AETの共同授業による1日平均授業時数(時間)	3.78	3.77	3.72	
評価の理由	英語指導助手の効果的な活用とともに、研修内容の充実や事例集の作成及び活用が進められており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	生徒の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能の基礎を養うため、英語指導助手の積極的な活用を促し、さらに教員の指導力向上を図る研修の充実に努めます。				

施策の柱	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	④国際理解教育の推進			教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の児童生徒のうち、特に日本語指導が必要とされる児童生徒に対して、日本語指導ボランティアの派遣を推進していきます。(再掲) ・国際理解教育の充実・推進を図ります。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒に629回の日本語指導を実施しました。 ・市立小・中・高・特別支援学校を対象とした国際理解教育研修会を実施しました。 ・市立小学校を2つのブロックに分け、ブロックごとに1校が外国語活動の授業公開を行い、研究協議を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	国際理解教育研修会実施数(回)	3	3	3	
	参加延べ人数(人)	110	105	112	
評価の理由	全市立学校の教職員が国際理解教育に関する研修会に参加し、国際理解教育に対する必要性を感じ取ったり指導力の向上を図ったりすることができ、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	国際理解推進のために外国語活動だけでなく外国のさまざまな文化、あわせて我が国の伝統文化や歴史などに関しても研修の充実を図り、国際理解教育の推進に努めていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(10) 英語教育・外国語（英語）活動及び国際理解教育の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実	教育センター	B	B	B
	②小学校外国語活動の推進	教育センター	B		
	③中学校英語教育の充実	教育センター	B		
	④国際理解教育の推進	教育センター	B		
学識経験者等	<p>小学校外国語活動の推進については、教科書を使って英語能力を高めていくことは必要であるが、自ら表現しようとする気持ちや自分から伝えようとする意志を大切に、子どもたちがより楽しく外国語活動できるように進めていただきたい。</p>				

【方向性】 I ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進							担当課	担当課評価
細 施策	①ICT教育の推進							教育センター	A
施策の内容	児童生徒がコンピュータやインターネット等のICTを活用し、情報の収集・活用・発信という主体的な学習ができるよう推進します。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校の授業におけるICT(情報通信技術)活用回数は、平成26年度は1学級あたり小学校で51.1回、中学校で75.9回だったのに対し、平成27年度は小学校で67.8回、中学校で84.0回と大きく増加しています。 ・デジタル教科書の活用回数は、平成26年度の1校あたり330.3回に対して平成27年度は383.4回となり、こちらも大幅に増加しています。 								
指標及び説明	【指標】 授業におけるICT(情報通信技術)活用授業回数				【説明】 市内全小学校のうち1学級当たり1年間にICT(情報通信技術)を活用した授業の実施回数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	回	28	32.2	36.8	34.1	43.2	51.1	67.8	35
評価の理由	デジタル教科書活用を含め、ICT活用回数は目標値を大きく上回っています。さらに児童生徒に対する情報の収集・活用・発信についての授業も各学校で進められており、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	教職員一人ひとりの能力や適性に合った研修会を引き続き計画的に実施することによって、ICT教育の効果や必要感を周知し、授業でのICT活用を推進していきます。								

施策の柱	(11)情報教育の推進							担当課	担当課評価
細 施策	②情報モラル教育の推進							教育センター	A
施策の内容	児童生徒の情報の安全管理や情報モラル等の育成を一層推進するために、情報教育推進委員会、管理職や情報化推進リーダー等を対象とした情報モラル教育の研修を体系的に推進します。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育に関しては、小学校では主に総合的な学習の時間で、中学校では、技術家庭科(情報分野)の年間指導計画に全校位置付け実施されています。 ・平成27年度小・中学校の情報モラルに関する授業の実施回数は、1校あたり21.9回となっています。 								
指標及び説明	【指標】 情報モラルに関する指導ができる教員の割合				【説明】 市内全中学校の教員のうち情報モラルに関する指導ができる教員の割合				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	%/校	66	75	76	77	80	90	87	80
評価の理由	情報モラルに関する指導ができる教員の割合が目標値を上回っていると同時に、情報モラルに関する授業も全校で実施されている状況で、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	情報モラル教育研修の内容を充実させ、教職員の情報モラルに対する指導力の向上に努めます。また、保護者を対象とした研修会においても情報モラルについて扱い、情報の安全管理や情報モラルについて一層啓発してまいります。								

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	③コンピュータ施設・設備の充実と活用			教育センター	B
施策の内容	小・中学校に設置されている教育用コンピュータの活用を図るため電子黒板やプロジェクター等の周辺機器を更に充実し、コンピュータ施設・設備の充実と活用を図ります。				
平成27年度実績	・平成27年度は霞ヶ関北小学校の校内LAN環境を整備するとともに、小学校では校務用コンピュータを430台、中学校においては280台の導入・入れ替えをしました。 ・学校に設置されている教育用コンピュータの活用を図るため、教職員に対してデジタル教科書や電子黒板の活用に関する研修会を実施し、教職員の指導力の向上を図りました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	校務にICTを活用できる小学校教員の割合(%)	97.5	97.4	98.8	
	校務にICTを活用できる中学校教員の割合(%)	95.7	95.9	95.3	
評価の理由	校内LAN環境の整備やコンピュータの導入・入れ替えなど計画的に推進することができました。さらに、小中学校に設置しているコンピュータを校務に活用できる教職員が高い水準で確保されており、おおむね順調に進ちよしています。				
改善の方策等	平成28年度は、校内LAN敷設工事を小学校2校、中学校12校で実施し、合わせて680台のコンピュータ(タブレット含む)を導入予定です。あわせて、小・中学校の校務用コンピュータを合計630台入れ替え予定です。平成29年度から平成31年度までに、計画的に全小・中学校に校内LAN敷設工事とともにコンピュータの導入も実施し、設備の充実を図っていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(11)情報教育の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ICT教育の推進	教育センター	A	A	
	②情報モラル教育の推進	教育センター	A		
③コンピュータ施設・設備の充実と活用	教育センター	B			
学識経験者等意見	情報モラル教育の推進については、SNSでの問題など様々な問題が生じているので、さらに進めていっていただきたい。				A

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進			担当課	担当課評価
細 施策	①読書活動啓発推進事業			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学生は「小江戸読書マラソン」の取組、中学生は「小江戸中学生読書手帳」の活用を通して、児童生徒の読書活動を推進します。 家庭には読書活動啓発リーフレットを保護者に配布し、家庭における読書活動の啓発に努めます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学生には「小江戸読書マラソン」を配布し、意欲的な読書活動が進められるようにしました。 中学生には「小江戸中学生読書手帳」を配布し、生徒の興味・関心を踏まえ、取り上げる本を見直すなど内容を改善しました。 読書活動啓発リーフレットについて、内容を見直し、改善を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	小学校における年間平均読書冊数(冊)	49.3	54.9	57.9	
	中学生読書手帳に記入された平均読書数(冊)	11.3	12.1	12.1	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 小学校では読書マラソンカードの積極的な活動により、平均読書冊数は向上しており、順調に進ちよくしています。 中学校では読書手帳について全校読書や授業での活用を通して、読書冊数が増加傾向にあります。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 読書マラソンカードを活用した読書啓発の実践を進めることで、今後の読書冊数の増加が期待できます。 読書手帳に掲載されている作品について授業を通じて幅広く活用することで、今後の読書冊数の増加が期待できます。 				

施策の柱	(12)読書活動の推進			担当課	担当課評価			
細 施策	②図書館司書による読書活動の推進			中央図書館	A			
施策の内容	図書や図書館への興味・関心を持ってもらうため、図書館司書の学校訪問等を通じ、読書活動の推進に努めます。							
平成27年度実績	全市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行いました。							
指標及び説明	【指標】 図書館司書による学校訪問等の回数 (校数)		【説明】 市立小学校3年生の各学級を対象に本の紹介などを行う					
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	
	回	20	32	32	32	32	32	32
校	20	32	32	32	32	32	32	32
評価の理由	図書館司書などによる全市立小学校訪問や学級招待を行ったことで、児童の読書活動が推進されており、順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	引き続き全市立小学校3年生の各学級を訪問・招待し、本の紹介を行います。							

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進							担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館から学校への団体貸出の推進							中央図書館	A
施策の内容	児童生徒たちの読書要求に応えるため、市立図書館から学校への団体貸出を推進します。								
平成27年度実績	児童・生徒たちへの「テーマ」に沿った図書を市内小学校25校に延べ114回、7,540冊、中学校9校に延べ12回、892冊、市立特別支援学校に延べ2回、62冊貸出しました。なお、今年度から配送サービスを実施し、利用改善を図りました。								
指標及び説明	【指標】 学校への団体貸出数				【説明】 市内小中高校の各学級を対象に100冊を上限に1ヶ月間貸出する冊数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
	冊	5,725	H22 6,886	H23 5,158	H24 5,059	H25 6,440	H26 7,833	H27 8,494	8,000
評価の理由	小学校への貸出冊数は7,540で平成26年度(7,242冊)に比べて約4%増でした。中学校への貸出冊数は892冊で平成26年度(591冊)と比べて約51%増でした。市立特別支援学校への貸出冊数は平成26年度はありませんでしたが、平成27年度は62冊でした。このため全体の合計としては平成26年度と比べて約8%増で、団体貸出数の実績値が目標値を上回っており、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	小中学校の先生たちに事業のPRをします。								

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(12)読書活動の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①読書活動啓発推進事業	教育指導課	A	A	
	②図書館司書による読書活動の推進	中央図書館	A		
③図書館から学校への団体貸出の推進	中央図書館	A			
学識経験者等意見	・小江戸読書マラソンは、気軽に読書活動を進められ、子どもたちの読書意欲が高まる非常に効果がある取組であるため、今後も続けていただきたい。 ・図書館司書による読書指導が行われているが、それだけではなく、ボランティアにより読書活動が推進されているところもあり、今後も進めていただきたい。				A

【方向性】 Iー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校保健活動の推進			教育指導課	A
施策の内容	学校・家庭・地域との連携を図りながら、健康診断や学校環境衛生活動等の保健管理の徹底に努めるとともに、歯・口の健康づくりや薬物乱用防止教育、性に関する教育等の保健教育や学校保健活動を推進します。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における定期健康診断等を実施しました。 ・学校環境衛生検査として飲料水検査、プール水検査、学校環境衛生検査、ホルムアルデヒド及び揮発性物質検査、砂場の細菌検査、ダニ・アレルゲン検査を実施しました。問題があった場合は、指導により改善を図りました。 ・歯・口の健康づくりや性に関する教育等は、学習指導要領に基づき適切に実施しました。 ・薬物乱用防止教育研修会を開催するとともに、全校で薬物乱用防止教室を実施し、健全な心身の育成に向けた取組を行いました。 ・養護教諭研修会で食物アレルギー・アナフィラキシー発生時の緊急対応について各学校の取組事例の発表や情報交換を行ない、更なる共通理解を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	薬物乱用防止教室の実施状況	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	全校実施 (小32 中22 高1 特1)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・予定されていたすべての検査を適切に実施し、問題のあった場合は改善を指導し、再検査で状況を確認しています。 ・全校で児童生徒の発達段階に応じた薬物乱用防止の指導を実施するなど順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季における教室内の室温調査等の環境衛生検査を実施し、衛生的で安全な学習環境の把握に努めます。 ・薬物乱用防止教育を更に充実させ、児童生徒の健全な心身の育成に取り組みます。 ・食物アレルギー・アナフィラキシーに対して適切な対応がとれるよう更なる定着を図ります。 				

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進			担当課	担当課評価
細 施 策	②安全・安心の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、地域の実態に応じた安全教育・安全指導を推進します。 ・登下校等における児童生徒の安全確保のための通学路の安全点検、スクールガード・リーダーの配置、地域ボランティアによる防犯パトロール等、地域及び関係機関等との連携を図り、安全・安心の取組を推進します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガード・リーダー養成講習会を実施しました。 ・各学校からの通学路改善要望をとりまとめ、防犯・交通安全課に提出しました。 ・青色回転灯パトロールカーによる市内の巡回を36回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	スクールガード・リーダー養成講習会参加者数(人)	78	91	101	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・32名にスクールガード・リーダーを依頼し、全小学校に配置しました。 ・スクールガード・リーダー養成講習会の実施時期と内容を改善し、より多くの方が参加できるようにするとともに、効果的な講習ができるようにしました。 ・関係課との連携により通学路の整備が進められ、おおむね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の交通事故の原因は、歩行時の飛び出しや自転車による運転の問題が多く、重大な事故につながらないよう、交通安全の指導を継続的に実施します。 ・学校からの要望書を受け、関係課と連携することで、危険箇所の把握及び改善をより速やかに進めてまいります。 				

【方向性】 I 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進		担当課	担当課評価				
細 施 策	③体力向上の推進		教育指導課	B				
施策の内容	「川越市児童生徒体力向上推進委員会」の取組や、近隣の大学との連携による「トップアスリートふれあい事業」の実施を通して、児童生徒の体力向上の推進に取り組みます。							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市児童生徒体力向上推進委員会」を開催し、体力向上広報紙「じゃんぷ」「川越市小・中学校新体力テスト一覧」、研究紀要「体力向上をめざして」を発行しました。 ・「トップアスリートふれあい事業」により、東洋大学と連携し、駅伝部のコーチ・学生を市立小学校6校に派遣し、2,727人の児童が参加しました。 ・市立全小中学校で新体力テストを実施し、結果をまとめ、体力向上の推進を図りました。 							
指標及び説明	【指標】 新体力テスト総合評価(5段階)で3段階以上の割合	【説明】 市立全中学校生徒の新体力テスト総合評価基準表の上位3段階生徒の割合						
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
	%	82.6	H22	H23	H24	H25	H26	H27
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「トップアスリートふれあい事業」で、第一線で活躍する大学生の走りを体感することにより、児童の走る意欲が高められました。 ・市内全中学校生徒の新体力テスト総合評価規準表の上位3段階生徒の割合は、平成21年度を基準とすると、その後増加傾向にあり、おおむね順調に進ちよくしています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で実施した新体力テストの分析により、「握力」「立ち幅とび」「ボール投げ」を体力重点課題とし、全体的な体力向上に向け、学校生活や授業の改善に取り組みます。 ・川越市児童生徒体力向上推進委員会により、小中連携した授業研究を通して、効果的な指導方法の研究を推進します。 							

【方向性】 I 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校保健活動の推進	教育指導課	A	B	
	②安全・安心の推進	教育指導課	B		
③体力向上の推進	教育指導課	B			
学識経験者等	トップアスリートふれあい事業については、子どもたちの意欲が高まり、記録が伸びていくこともあるので、各校2年か3年に1回は回ってもらえるように事業の拡充を図っていただきたい。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱	(14)学校の評価充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①人事評価の充実			学校管理課	B
施策の内容	教職員人事評価システムを有効に活用し、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、校長を中心とする学校組織の活性化や人事評価の充実を目指します。				
平成27年度実績	各学校の目標に応じ、年度当初に個々が目標と方策を立てました。面談を重ね、進行状況を確認し、達成状況や職務遂行の過程で発揮された能力、執務姿勢等に加え、他の職員とのコミュニケーション及び協働に関する行動(チームワーク行動)の観点から総合的に評価していくことで、教職員の資質・能力の向上が図れました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	校長に対する年間面談回数(回)	167	168	168	
	教職員に対する年間面談回数(回)	4,584	4,671	4,659	
評価の理由	「埼玉県市町村立学校職員の人事評価に関する規則」及び「埼玉県市町村立学校職員の人事評価実施要領」に基づき、各学校で設定した目指す学校像と重点目標を踏まえて目標と方策を策定しました。目標の達成状況に基づいた自己評価、評価者評価を通し、教職員の資質・能力の向上に活用され、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	年度当初に個々の目標・方策・困難度が適切に設定され、また、評価者によって評価の差が生じないよう、評価者研修を充実させ、教職員人事評価制度への理解を深められるよう努めます。				

施策の柱	(14)学校の評価充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②学校評価の充実			学校管理課	B
施策の内容	PDCAサイクルによる学校の自己評価、外部アンケート等の実施、学校関係者評価などを通して、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と充実を目指します。				
平成27年度実績	各学校が自己評価のために、学校関係評価委員による授業参観、学校観察等を行うとともに、教員による自己評価・外部アンケートを実施しました。自己評価により、学校の課題や改善点を整理し学校運営を改善することができました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	「自己評価」におけるA評価の割合(%)	32.9	34.9	35.4	
	「学校関係者評価」におけるA評価の割合(%)	55	53	58	
評価の理由	各学校が、学校関係者に学校自己評価の評価理由及び改善策を提示し、年度末に学校関係者評価を実施し意見を伺っており、PDCAサイクルによる学校運営がおおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	学校評価評価項目を、学校の実態に合わせたものにするために、関係者との連携を更に進め、より良い学校評価を実現できるよう努めていきます。				

【方向性】 I－生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進

施策の柱		(14) 学校の評価充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人事評価の充実	学校管理課	B	B	B
	②学校評価の充実	学校管理課	B		
学識経験者等 意見	特になし				

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(1)学校施設の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施策	①学校施設の耐震化の推進							教育財務課	A
施策の内容	学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には地域住民の避難場所となるなど重要な役割を担っていることから、学校施設の耐震化に向け耐震補強工事を計画的に取り組みます。								
平成27年度実績	平成24年度に全学校施設の耐震化が完了しました。								
指標及び説明	【指標】 学校施設の耐震化の推進				【説明】 市内のすべての公立小中学校の耐震化の割合				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	%	63	76	93	100	100	100	100	100
評価の理由	平成24年度を完了年度とした「川越市小中学校耐震化推進計画」に基づき、全学校施設の耐震化が完了しました。								
改善の方策等	平成24年度に全学校施設の耐震化が完了しました。								

施策の柱	(1)学校施設の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施策	②大規模改造工事等学校施設の整備の推進							教育財務課	A
施策の内容	学校施設設備の老朽化した部分等の緊急性や必要性などを検討し、建物の耐久性の向上を図るため大規模改造工事等計画的な施設・設備の整備を進めていきます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改造工事を実施(小学校1校、中学校1校) ・トイレ改修工事を実施(小学校3校、中学校2校) 								
指標及び説明	【指標】 大規模改造工事の推進				【説明】 市内のすべての公立小中学校の大規模改造工事の実施割合				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	%	44	52	54	55	57	59	61	59
評価の理由	川越市教育振興基本計画の最終年度である平成27年度末の目標値である59%を達成しました。								
改善の方策等	学校施設の耐久性の向上、施設の機能改善、教育環境の改善を図るため、「川越市小中学校大規模改造計画」に基づき、大規模改造工事を進めてまいります。								

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(1) 学校施設の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校施設の耐震化の推進	教育財務課	A	A	A
	②大規模改造工事等学校施設の整備の推進	教育財務課	A		
学識経験者 意見等	学校のトイレ改修工事については、学校によってはとても古くなっているところがあり、臭い等の問題もあるので、改修工事を進めていただきたい。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化			担当課	担当課評価
細 施 策	①小・中学校の通学区域・規模等の検討			学校管理課	B
施策の内容	今後の川越市立小中学校の在り方検討委員会において、「通学区域に関すること」、「余裕教室の活用に関すること」、「今後の望ましい学校数(学校の統廃合や存続等)に関すること」、「その他」の視点で検討し、将来にわたり適正な小中学校の通学区域・規模等を調査研究していきます。				
平成27年度実績	平成27年3月に作成した「川越市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に向けて」を土台に、同年7月の政策企画課の通知「第四次川越市総合計画における将来人口推計について」なども参考にしつつ、前年度に引き続き、市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定のための検討を行いました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	小中学校の在り方検討委員会等開催回数(回)	3	3	2	
	検討内容	児童数の増加が見込まれる学校への対応策について	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針等	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針等	
評価の理由	市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定のためには、市長部局の関係各課を交えての検討が必要です。平成27年9月に当初案が示された「川越市公共施設等総合管理計画」等との整合も考慮する必要があることなどにより、当該各課を交えて検討するには至りませんでした。おおむね順調に進ちよくしております。				
改善の方策等	平成27年1月に文部科学省が発出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」等を参考にしつつ、「川越市公共施設等総合管理計画」との整合も考慮しながら、「川越市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に向けて」に、小中一貫化等必要な記述を加筆、修正するなどの形で、本市としての小・中学校適正規模・適正配置基本方針を策定するため、市長部局の関係各課の協力を求め、検討を進めてまいります。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①小・中学校の通学区域・規模等の検討	学校管理課	B	B	
学識経験者等 意見	特になし				

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(3)学校図書館の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①司書教諭・図書整理員の配置			教育指導課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭・図書整理員の配置により、学校図書館経営の充実を図り、学校図書館を活用した学習指導を一層推進します。 ・司書教諭や図書整理員の研修等を通して読書好きの児童生徒を増やし、子どもの読書活動を活発にするために、司書教諭や図書整理員の研修等を通して、創意工夫をこらした学校図書館の中で、子どもの読書活動が充実するように努めます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭、図書整理員とも全校に配置しました。(図書整理員は30人を複数校配置で対応) ・子ども読書活動推進研修会を実施し、司書教諭を中心に児童生徒の読書活動推進のための研修を実施しました。 ・図書整理員を対象に、魅力ある学校図書館づくりを進めるための研修会を年4回実施し、これからの学校図書館担当職員に求められる役割や職務について周知し、学校図書館の充実を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	学校図書館の貸出数(小学校)(冊)	431,081	459,709	485,062	
	学校図書館の貸出数(中学校)(冊)	45,873	48,842	48,360	
評価の理由	各種研修会を通して司書教諭・図書整理員の職務充実が図られたことで、学校図書館の整備と活用が促進されています。本の貸出冊数は小学校では継続的に増加しており、順調に進捗しています。				
改善の方策等	年度初めのオリエンテーションやブックトークの実施や「全校一斉朝読書」など読書活動の時間を設定、教科の指導等による学校図書館の利用促進を通して、今後も児童・生徒が本に触れる機会を増やします。				

施策の柱	(3)学校図書館の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②蔵書の充実			教育指導課	B
施策の内容	学校教育の中で、学校図書館の活用の充実が図れるよう、子どもの要望に応じた図書や豊かな心を育てるための図書を計画的に購入し、蔵書の充実を努めます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に適切に予算を配当し、計画的に図書を購入しました。 ・調べ学習や発展的な学習に活用できる本や児童生徒が興味・関心を寄せている本を計画的に購入し、学校図書館の環境整備を図りました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	図書標準の達成率(小学校)(%)	80.6	83.3	86.9	
	図書標準の達成率(中学校)(%)	97.0	100.6	103.0	
評価の理由	図書の計画的な購入により、図書標準の達成率は年々向上しており、おおむね順調に進捗しています。				
改善の方策等	計画的な図書の購入と適切な蔵書の入替えにより、蔵書の量的確保とともに質的向上が図れるよう整備を進めます。				

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(3) 学校図書館の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①司書教諭・図書整理員の配置	教育指導課	A	A	A
	②蔵書の充実	教育指導課	B		
学識経験者 意見等	蔵書の充実については、子どもたちが身近に手に取れる学級文庫についても、学校図書館とのバランスを考慮しながら充実を図っていただきたい。				

【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①食育の推進			教育指導課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るために、学校給食を通じた食に関する指導に加え、教科等と連携した食に関する指導の推進に努めます。 ・効果的な食に関する指導を推進するため、栄養教諭制度等の指導体制の整備を推進するとともに、学校、家庭、地域への啓発、情報提供など、連携した取組を目指します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や家庭科、総合的な学習の時間等において、食に関する指導を全小中学校で実施する中で食事の重要性や食文化について指導しました。 ・「朝食バランスアップハンドブック」を活用した、より良い食習慣の意識を高める授業研究会を開催し、市内の小中学校の教員による成果と課題についての協議の場を設けました。 ・朝食の必要性やバランスについて考える実践例が掲載された広報紙「じゃんぷ」を全家庭に配布し、食育について啓発しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	必ず朝食をとる割合(小5)(%)	90.3	88.8	92.7	
	必ず朝食をとる割合(中2)(%)	85.5	80.6	85.6	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間や家庭科等の授業で、バランスの良い食事や地産地消の考え方を踏まえた学習が推進されています。 ・各学校において食育における年間指導計画を踏まえた指導を行っており、おおむね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県の「早寝、早起き、朝ご飯」の運動を推進します。 ・食育についての研修を引き続き計画的に実施します。 				

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価				
細 施 策	②給食内容の充実			学校給食課	A				
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心でおいしい給食を提供するため、栄養的にバランスの取れた給食を提供し、児童生徒の健康の増進や体力の向上を目指します。 ・学校給食で使用する食材の安全確保に努めるとともに、地場産物の使用拡大に努めます。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における摂取基準に基づいた学校給食を小学校188回、中学校187回実施しました。 ・農産物等の産地証明、残留農薬証明書等を求め、給食材料の安全性を確保しました。 ・地産地消の考えから主食米については、川越産米約240t、野菜については61t(17品目)を使用しました。 ・食材について、毎日3品目程度と給食1食分の放射性物質検査を実施しました。 								
指標及び説明	【指標】 学校給食における地場産物の使用拡大			【説明】 学校給食への川越産野菜使用割合					
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26		H27
	%	19.3	8.8	19.1	19.6	21.4	8.1	22.9	20.0
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産野菜の使用については、天候等により左右されます。平成27年度は平成26年度より安定的に使用できたため、目標値を達成することができ順調に進ちよくしています。 ・食材の安全性確保のため、引き続き放射性物質の検査を実施していきます。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地場産農産物の利用を増やしていくため、地場産物を生かした献立や、収穫期に合わせた献立等、地場産物を積極的に取り入れていきます。 ・食材の安全性確保のため、引き続き放射性物質の検査を実施していきます。 								

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4)学校給食の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	③学校給食施設の整備			学校給食課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藤間学校給食センターと吉田学校給食センターは老朽化が進んでいるため、施設の更新を計画的に推進していきます。 ・学校給食の安全性の向上を図るため、調理場のドライ化を推進します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)川越市新学校給食センター整備運営事業について、PFI方式による事業契約を締結しました。 ・学校給食センターの設備改修のため、工事の設計・積算の業務委託を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	改修工事	男子休憩室冷暖房設備改修工事(今成)、焼物機等改修工事(今成)	事務室等空調設備工事(今成)、プレハブ冷蔵庫改修工事(今成)	排水圧送管布設工事設計業務委託(菅間)排水貯留槽等設置工事設計業務委託(菅間)	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の更新である(仮称)川越市新学校給食センター整備運営事業契約が完了し、計画どおり順調に進ちよくしています。 ・改修工事は計画どおり進んでいます。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の更新については、事業契約の締結が完了したことから、工事監理業務を適切に進めていきます。 ・既存施設の改修工事及び修繕については、計画的に実施します。 				

- 【方向性】 1 一生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(4)学校給食の充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①食育の推進	教育指導課	B	A	
	②給食内容の充実	学校給食課	A		
③学校給食施設の整備	学校給食課	A			
学識経験者等意見	きちんとした食事をとることは大切だということを早い段階から知ってもらえるよう、食育を進めていただきたい。				A

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(5)市立川越高等学校の改革・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進			市立川越高等学校	B
施策の内容	第二次川越市立川越高等学校将来構想懇話会を設置し、「学科編制の在り方」「学校・学級規模の在り方」「教員の研修の在り方」「中高連携や中高一貫教育の在り方」について検討し、市民の負託に応える魅力ある市立高等学校づくりを推進します。				
平成27年度実績	各学科とも35人少人数学級編制、地域特別選抜を実施しました。教員の研修では、「大学等進学指導力向上研修」を活用し、大学進学予備校に教員を4名派遣し、学習指導力の向上を図りました。中高連携では、3中学校との校種間連携教育の委嘱を受け、城南中2年生全員の体験授業の実施や、本校からの出前授業、中学校保護者への説明会、校内見学を推進しました。 また、川越市立川越高等学校教育審議会を設置し、市立川越高等学校の将来構想について諮問し、答申をいただきました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	1年生の市内生比率(%)	35.1	32.4	32.3	
		(平成26年4月入学生)	(平成27年4月入学生)	(平成28年4月入学生)	
評価の理由	成果実績は昨年度とほぼ同様の割合でした。生徒募集人数に対する志願者倍率は各学科1.3～1.5倍と高倍率を保っています。中高連携では、本校の良さを知って志望する生徒の増加とともに、部活や教科で連携する教員が増えています。				
改善の方策等	平成27年度に開催された川越市立川越高等学校教育審議会の答申を踏まえ、時代の要請と市民の期待に応える市立川越高等学校づくりに資するため、継続的に将来構想について検討し、平成28年度内に学校としてのビジョンを固めていきます。				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(5)市立川越高等学校の改革・充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進	市立川越高等学校	B	B	
学識経験者等意見	特になし				

- 【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進
 【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱	(6)教育センターの充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①教育センターの整備・開放の充実			教育センター	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターの機能を充実させるため、教職員研修体制の整備を図るとともに、市民も活用できる施設となるよう推進します。 ・1階施設や体育館及び運動場は、市民に対して積極的に開放していき、研修施設としての設備は計画的に整備し、教育センター機能の充実を図っていきます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は、2階の排煙設備設置及び内装制限に係る工事を行いました。 ・施設の市民への無料貸し出しについて広く周知され、施設利用の登録団体が26年度より7団体増えました。 ・1階施設は市民の使用を優先し、主に昼間に活発に利用されています。また、体育館は、教職員研修と重ならない場合において、9時15分から20時45分まで市民に貸し出しを行うとともに、運動場は地域のサッカー団体に土・日曜日に貸し出しを行いました。 ・休日や夜間の貸し出しについては、管理業務を川越市シルバー人材センターに委託し、市民が施設を安全に利活用できる環境づくりを行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	1階施設利用者数(人)	2,669	7,317	10,434	
	体育館及びグラウンドの利用回数と人数(回/人)	606/20,433	755/22,186	667/19,380	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場及び体育館の貸し出しは、年間を通して平日、土日、祝休日ともに利用希望者が増加しています。 ・各種団体が利用している学校施設が利用できない期間(改修工事や卒業式等の学校行事)は特に、多くの団体が利用するため、調整をしながら貸し出しを行っています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館を利用する市民の要望に応え、雨漏りしていた体育館の屋根について28年度中に工事を行い、利用しやすい施設としての環境を整備していきます。 				

施策の柱	(6)教育センターの充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②家庭・地域との連携研修の充実			教育センター	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校や情報モラル教育の諸問題など、今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域との相互理解を目的とした家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭・地域連携 保護者とともに考える研修会」において「情報モラル教育の進め方」の研修を行い、保護者・教職員に携帯電話(スマートフォン)等の使用に起因する子どもへの危険性や対処方法、与える際のルールづくり等について考えを深めることができました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	研修会の開催(回)	2	1	1	
	参加者数(人)	123	103	107	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭が課題解決に向け、共通理解を図ることを目的として、研修会を開催しました。参加者からは、「保護者がスマートフォンの仕組みを理解し、子どもが携帯を持つ年頃になったとき、スマートフォン、インターネットの危険性を必ず伝えられるようにしていきたい。」といった感想が多くあげられ、おおむね順調に進ちよくしています。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の周知方法の工夫を図り、保護者の参加者の増加に努めます。 ・講演会では、情報モラル教育に関わる内容等、子どもの生活状況に密接した課題を扱い、実生活に生かせる必要感ある研修内容になるよう努めます。 				

【方向性】 1 ー生きる力を育む学校教育の推進

【施策】 2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実

施策の柱		(6) 教育センターの充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①教育センターの整備・開放の充実	教育センター	A	A	A
	②家庭・地域との連携研修の充実	教育センター	B		
学識経験者等 学意見	特になし				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	①家庭教育の充実			地域教育支援課	A
施策の内容	家庭の教育力を向上させる必要があることから、乳幼児の親や小・中学校PTAを対象とした家庭教育に関するさまざまな学習の機会を提供します。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数267回、延べ参加者数8,748人) ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:108人) ・保育園家庭教育講座:16回(参加者数:375人) ・幼稚園家庭教育講座:8回(参加者数:324人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:102人) ・登録講師を対象に家庭教育講座に向けての研修会を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	幼保高家庭教育講座(回)	24	23	25	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
評価の理由	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、市立保育園・高等学校、私立幼稚園で計25回実施し、参加保護者のみならず保育士・教職員にも好評で、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。				

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	②学童保育の充実			教育財務課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・老朽化した学童保育室の保育環境を良くするため、その改善に努めます。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,166人でした。(全児童に占める割合は12.2%、入室を待機している児童はいない) ・老朽化対応として南古谷学童保育室の改築工事を継続事業として行い、狭隘化対応として大東西学童保育室の増築を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	年度当初の入室児童数(人)	1,983	2,037	2,166	
	老朽化対応率(全プレハブ室数に占める築30年未満の室数の割合)(%)	83	92	92	
評価の理由	年度当初の入室児童数は増加していますが、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、施設の老朽化・狭隘化対応につきましては、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	老朽化又は狭隘化した学童保育室については、第四次川越市総合計画実施計画に位置付け改築・改修を行っていきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等	夏休み等の長期休業中の学童保育について、地域のボランティアの方の活用や、地域の子どもたちも参加できるような活動など、子どもたちが楽しく過ごせるような保育内容について検討していただきたい。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課		担当課評価	
細 施 策	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備			地域教育支援課		A	
施策の内容	子どもたちが、地域社会で健やかに育ちゆくため、地域ぐるみ教育のためのネットワークを整備し、家庭や地域社会の教育に対する関心と責任意識を高めます。						
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回「川越市地域子どもサポート本部会議:学校・家庭・地域連携推進事業について」(平成27年5月22日実施) ・第2回「川越市地域子どもサポート本部会議:子どもサポート発表会、小江戸見つけ隊について」(平成27年6月26日実施) ・第3回「川越市地域子どもサポート本部会議:「小江戸見つけ隊」作品審査」(平成27年11月20日実施) ・第4回「川越市地域子どもサポート本部会議:4ブロックに分かれてブロック協議(委託金、学校応援団消耗品、連携学校数について等)」(平成28年2月17日実施) 						
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27			
	地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議等の開催(回)	3	4	4			
評価の理由	「地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議」が平成24年度をもって計画通り終了し、引き続き、「川越市地域子どもサポート本部会議」において、地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備を進めることができたことから、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	今後は、学校・家庭・地域の連携による協働事業として、地域ぐるみで教育を推進するためのネットワークの整備に努めます。						

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課		担当課評価		
細 施 策	②学びを支援するシステムの整備			地域教育支援課		A		
施策の内容	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域の連携を深め、地域ぐるみで学びを支援するシステムとして、子どもサポート事業や学校応援団活動を更に推進し、家庭や地域の教育力を高めていきます。							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数156件(延べ参加者数:22,215人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数1,725件(延べ参加者数:16,933人) ・子どもサポート委員会開催数127回(延べ出席者数:2,617人) 							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①子どもサポート事業への参加者数 ②学校応援団の活動数			①市内14地区の子どもサポート事業への参加者数 ②市内14地区の子どもサポート委員会が市内小・中学校へ学校応援団として活動する数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	
	① 人	11,105	15,409	22,196	33,696	32,848	32,935	41,765
② 件	107	138	144	225	569	592	1,725	216
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者は、各地区の特色を生かし、子どもたちの体験活動を充実する事業が多かったため、目標値を上回っており、順調に進ちよくしています。 ・学校応援団の活動については、各サポート委員会で広がりを見せており、内容も充実し、順調に進ちよくしています。 							
改善の方策等	持続可能な活動にしていくために、スタッフの世代交代や人材の発掘を支援します。また、各サポート委員会間の情報交換や活動発表を進め、子どもたちの実態に即した活動内容の改善に向けて支援していきます。							

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上							担当課	担当課評価
細 施 策	③社会教育関係団体への支援							地域教育支援課	A
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダースクール(第34期生)講座数:5回 受講者数:135人 認定証授与者数:132人 ・ジュニアリーダースクラブ登録者の割合:85.6%(113人) ・社会教育関係団体等の活動の活性化と充実のために補助金を交付しました。 川越市子ども会育成団体連絡協議会:333,000円、川越市PTA連合会:333,000円 								
指標及び説明	【指標】 ジュニアリーダースクラブ登録者の割合				【説明】 ジュニアリーダースクール認定者のうち、ジュニアリーダースクラブに登録した児童の割合				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
	%	82.5	H22	H23	H24	H25	H26	H27	85.0
評価の理由	ジュニアリーダースクールについては、修了後ジュニアリーダースクラブに登録した割合は目標値を上回り、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	ジュニアリーダースクールについては、認定者が校区ジュニアリーダースクラブへより多く登録し、ジュニアリーダーとして活動できるよう環境整備や支援体制の充実を図ります。								

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	地域教育支援課	A	A	
	②学びを支援するシステムの整備	地域教育支援課	A		
③社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A			
学識経験者意見等	ジュニアリーダーの活動については、より多くの子が小学生のうちから興味を持てるような環境整備や支援体制の充実を図っていただきたい。				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立							担当課	担当課評価
細 施策	①生涯学習推進のための拠点施設設置							文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	地域振興ふれあい拠点施設に生涯学習センターの設置を進めます。								
平成27年度実績	平成26年度に、川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)の中に、市民活動・生涯学習施設を開設しました。								
指標及び説明	【指標】 生涯学習センターの設置				【説明】 生涯学習施設(センター)の設置数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26		H27
	館	0	0	0	0	0	1	1	1
評価の理由	市民活動・生涯学習施設の開設により、目標値を達成し、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	指定管理者と連携し、市民活動・生涯学習施設の適正な管理運営をまいります。								

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立							担当課	担当課評価
細 施策	②社会教育職員研修の充実							地域教育支援課	A
施策の内容	市民の多様化する学習要求に応えるため、計画的に専門的な研修の機会を設け、関係職員の資質・能力の向上を図るとともに、学習者の視点に立った学習内容・学習方法の改善・工夫に努めます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者対応事業を実施するための研修会 オリエンテーション 1回(参加者22名) 体験研修14回 参加者のべ25人 ・社会教育主事講習 職員派遣(1名) 平成28年1月20日(水)～2月26日(金) 38日間 								
成果実績	項目名(単位)		H25		H26		H27		
	研修会参加者数(人)		38		51		47		
	主事講習職員派遣数(人)		0		1		1		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者対応事業を実施するための研修会については、昨年に引き続き座学を中心とした講義形式と公民館で実施している障害者事業へ体験参加といった2つの形式で実施しました。今後も内容の工夫を図り、効果的な研修会を提供していきます。参加者数は昨年を下回りましたが、アンケート結果の理解度・満足度は高く、順調に進ちよくしています。 ・社会教育主事講習については、平成27年度は公民館職員が参加し、講習を修了しました。順調に進ちよくしています。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 障害者対応研修については、今後も引き続き多くの方に参加していただき、充実した研修会を行えるよう体制整備に努めます。 社会教育主事講習については、積極的な派遣に向け、職員への情報提供に努めます。 								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(1) 生涯学習推進体制の確立			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習推進のための拠点施設設置	文化芸術振興課	A	A	A
	②社会教育職員研修の充実	地域教育支援課	A		
学識経験者等 意見	<p>・市民活動・生涯学習施設のオープンスペース(ワークショップ・情報コーナー)については、基本的に無料で誰でも利用できるスペースであることの周知を図っていただきたい。</p> <p>・社会教育職員研修の障害者対応事業を実施するための研修会の取組については、とても大事なことであるため、今後も継続していただきたい。また、障害者支援法との整合性や状況を確認しながら進めていただきたい。</p>				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	①学習情報の提供システム整備			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌「マナビガイド」を作成し、小・中学校、公民館等に配布します。 ・市のホームページを活用した学習情報の提供を積極的に推進します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・月間の講座や教室の情報をまとめた「マナビガイド」を毎月作成し、市内45箇所の公民館等の公共機関に設置しました。また、職員に周知するため各課に回覧用として配布しました。 ・市のホームページに「マナビガイド」を毎月掲載しました。 ・市の公式ツイッターへも、マナビガイド発行情報を掲載しました。 ・平成27年度から市の文化芸術イベント・講座情報のメール配信サービスを開始しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	マナビガイド年間発行回数(回)	12	12	12	
	マナビガイド年間発行件数(部)	4,175	4,464	4,716	
評価の理由	「マナビガイド」の配布窓口や設置部数の見直しを行うとともに、ツイッターやメール配信サービスの活用により、毎月新しい学習情報を提供できており、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	市内の生涯学習に関する学習情報を網羅するため、既存の方法以外の情報入手方法を開拓し、より読みやすいレイアウトとすることで、分かりやすい情報誌の作成を目指します。				

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	②生涯学習に関する意識調査の実施			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	市民が生涯にわたって学習活動を行いやすい環境の整備のために、定期的な各種調査活動を進めていきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年度から4年ごとに調査を実施しています。 ・直近では平成25年度に「生涯学習に係る市民意識調査」を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	調査回数	1	—	—	
評価の理由	平成27年度に調査は実施していませんが、平成25年度の調査結果を基に「第三次川越市生涯学習基本計画」を策定し、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	次期計画策定の資料とするために、次回の調査時期を検討する必要があります。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設							担当課	担当課評価
細 施 策	③町内公民館講座の開設支援							中央公民館	A
施策の内容	地域社会の連帯意識や地域の教育活動の振興を進めるために、自治会単位の公民館講座の開設に対して支援します。								
平成27年度実績	各町内等の公民館において、地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする87講座(158,462人)を支援しました。								
指標及び説明	【指標】 町内公民館講座の開設数				【説明】 町内公民館講座の開催講座数				
	単位	現在値 (H21)	実 績 値						目標値 (H27)
指標の推移	講座	69	H22 74	H23 81	H24 85	H25 79	H26 87	H27 87	70
評価の理由	各町内における公民館活動が活発に行われ、成果を上げており、順調に進ちよくしております。								
改善の方策等	今後も各町内において多様な活動ができるよう、町内公民館講座の開設に向けて支援を行っていきます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設						
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価		
			細施策	施策の柱			
	①学習情報の提供システム整備	文化芸術振興課	A	A			
	②生涯学習に関する意識調査の実施	文化芸術振興課	A				
③町内公民館講座の開設支援	中央公民館	A					
学識経験者等意見	学習情報の提供については、情報を受ける側のニーズ等を考慮しながら進めていただきたい。						

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価				
細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習			中央公民館	B				
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。								
平成27年度実績	ライフステージにおける課題の学習機会の充実の講座数144講座、参加者延べ人数33,960人(指標は公民館主催事業への参加者数を記載しているため、現代的課題の学習の参加者延べ人数17,963人、地域教育活動支援の講座参加者延べ人数29,306人、事務支援、事務援助参加者延べ人数11,962人、会議等1,976人を含む)								
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27					
	参加者延べ人数(人)	36,845	35,270	33,960					
指標及び説明	【指標】 生涯学習事業参加者数 (内訳として、①公民館主催事業参加者数、 ②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数)		【説明】 公民館主催事業への参加者数 (H22年度より地域文化活動が市長部局に移管されているため、 参考として①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、 地区文化祭参加者数を表記する。)						
	指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
H22				H23	H24	H25	H26	H27	
人		93,530	98,402	111,700	110,970	111,513	108,030	116,194	135,000
①		71,603	75,876	91,643	90,638	91,107	91,261	95,167	103,000
②	21,927	22,526	20,057	20,332	20,406	16,769	21,027	32,000	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにおける課題の学習は前年度比3.7%減となっています。 ・22年度からは市長部局へ移行になった地域文化活動を除く。(21年度21,927人) ・23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加(23年度9,660人、24年度8,745人、25年度8,370人、26年度8,427人、27年度11,962人) ・目標値としては、新たな公民館の設置が予定されていたことから、高い数値が設定されていましたが、設置がなかったため、実績値は届きませんでした。 								
改善の方策等	引き続き各種講座の実施にあたっては、生涯の各時期に生じる課題を取り上げ、充実した学習機会を提供していきます。								

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	②現代的課題の学習			中央公民館	B
施策の内容	社会的に要請される環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。				
平成27年度実績	現代的課題の学習機会の充実の講座数130講座・参加者延べ人数17,963人(現代的課題の学習の成果実績は、公民館主催事業への参加者人数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	参加者延べ人数(人)	20,859	20,152	17,963	
評価の理由	講座参加者の延べ人数は、前年度より10.9%減となり、講座開催の延べ回数は、前年度より1.4%減(25年度673回、26年度633回、27年度620回)となりました。地域教育活動の支援の講座に移行されてきています。				
改善の方策等	日常生活と結びつく身近な問題や課題を取り上げ、充実した学習機会の提供に努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の教育活動を支援			中央公民館	A
施策の内容	地域で行っている教育活動を支援するための学習活動や情報の提供、事業等への支援に努めます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の主催事業及び公民館と地域団体との共催事業の講座数280講座、参加者延べ人数29,306人 ・地域団体が主催し、公民館が事務支援している団体数61団体、参加者延べ人数11,962人（地域の教育活動を支援の成果実績は、公民館主催事業への参加者数に含まれている） 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	講座参加者延べ人数 (講座数・人)	140 ・ 21,672	292 ・ 24,907	280・29,306	
	事務支援、事務援助 (団体数・人)	49 ・ 8,370	50 ・ 8,427	61・11,962	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者延べ人数は前年度比17.7%増です。 ・共催事業は240講座です。(全体の85.71%・前年度比12講座減) ・公民館登録グループの公開講座を積極的に展開しており、参加者数が増加しています。 				
改善の方策等	引き続き地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	B	B	
	②現代的課題の学習	中央公民館	B		
③地域の教育活動を支援	中央公民館	A			
				B	
学識経験者等意見	公民館登録グループの公開講座は、より多くの人たちが何らかの活動に参加できる良い取組であるので、支援をしながら今後も進めていただきたい。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校教育における人権教育推進事業			地域教育支援課	A
施策の内容	<p>・学校における人権教育の一環として、人権作文・人権標語・人権絵画の取組を、年間指導計画に位置付け、計画的に推進します。</p> <p>・人権教育推進のため、公民館区人権教育推進事業に係る研究を小・中学校に委嘱し、その実践報告を「人権教育実践集録」として発行します。</p>				
平成27年度実績	<p>・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進</p> <p>・人権絵画展「いのち・こころを大切に作る絵画展」の開催 3日間 218人</p> <p>・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人</p> <p>・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	789	818	827	
	委嘱小・中学校数(校)	11	11	10	
評価の理由	<p>人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。</p> <p>「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の推進に努めます。				

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②人権啓発活動の推進			地域教育支援課	B
施策の内容	<p>差別や偏見のない思いやりのある明るい地域社会を築いて行くため、児童生徒、社会教育施設利用者及び一般市民などを対象に、人権啓発活動を通して、人権意識の高揚と差別意識の解消に努めます。</p>				
平成27年度実績	<p>・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催</p> <p>・川越市人権教育実践報告会開催</p> <p>・人権文集「あけぼの」発行</p> <p>・人権カレンダー発行</p> <p>・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回)</p>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会(人)	237	242	209	
	人権教育実践報告会(人)	261	280	282	
評価の理由	<p>人権教育実践報告会の参加人数は、増加傾向にあります。分科会では、活発な意見交換もあり、充実した時間を過ごすことができました。人権教育啓発資料の発行も確実に行われ多くの児童生徒、保護者、一般市民に活用していただいていることから、おおむね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	更に研修会の充実を図り、人権啓発資料の充実に努めます。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実						担当課	担当課評価	
細 施 策	③人権教育指導者の養成						地域教育支援課	B	
施策の内容	職場や地域社会における人権問題の解決を目指して、人権教育指導者養成講座を実施し、各種団体や家庭における人権教育指導者の養成を図ります。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(17公民館で実施 96講座 参加者数3,844人) ・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数149人) 								
指標及び説明	【指標】 公民館における人権教育指導者養成講座参加者数				【説明】 公民館主催の人権教育指導者養成講座への参加者数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	人	3,798	3,766	3,813	4,000	3,972	3,775	3,844	4,000
評価の理由	公民館における人権教育指導者養成講座は、昨年度より参加者数が増加し、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	人権講座担当者の確保や講座開設・募集等について検討します。指導者養成講座では、人権感覚育成プログラムを取り入れた体験型の講座やDVDなどの視聴覚教材を取り入れ、話し合い型の講座など講演会だけでなく参加意欲を向上させるような内容を取り入れるなど、事業の充実に努めます。								

施策の柱	(4)人権教育の充実						担当課	担当課評価
細 施 策	④関係機関・団体等との連携						地域教育支援課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所事業各講座の実施(習字教室24回、カラオケ教室22回、フレンドスクール8回、成人講座5回、女性講座5回、高齢者講座5回) ・心輝く書道展開催 ・集会所ふれあいまつり開催 							
成果実績	項目名(単位)		H25	H26	H27			
	集会所事業講座・教室参加者数(人)		2,315	2,471	2,865			
	ふれあいまつり参加者数(人)		238	276	262			
評価の理由	各講座では参加者の固定化が目立ち参加者数は、ほぼ横ばいでしたが、フレンドスクールは、多くの子どもたちの参加があり、順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校教育における人権教育推進事業	地域教育支援課	A	A	A
	②人権啓発活動の推進	地域教育支援課	B		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	B		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	A		
学識経験者等	<p>・人権啓発活動の推進については、SNSに関わる人権侵害について、人権教育という枠組みの中で内容や課題について検討するとともに、人権教育から抜け落ちているところがないか確認しながら進めていただきたい。</p> <p>・人権教育については、人権文集等を活用して家族で話し合えるよう、家庭へのアプローチを広げていっていただきたい。</p>				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①公民館の設置			地域教育支援課	C
施策の内容	本庁、出張所区域と中学校区を勘案しながら、未設置地区については、身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。				
平成27年度 実 績	(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進：公民館新築工事基本設計業務委託の実施				
成 果 実 績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	検討懇話会の開催回数(回)	4	1	0	
	建設検討懇話会の開催回数(回)	5	0	0	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館整備推進：平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されましたが、平成27年度は予算確保に至らず、進ちよくがあまり順調ではありません。 ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進：平成27年度は公民館新築工事基本設計業務委託を実施し、順調に進ちよくしています。 ・(仮称)西公民館建設推進：地元有識者によって地域の意見集約を図る建設検討懇話会は開催されず、進ちよくがあまり順調ではありません。 				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成28年度に実施設計を委託します。 ・霞ヶ関北公民館整備推進については、基本設計に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地元有識者による建設検討懇話会が開催されるよう助言協力を行い、施設機能の検討を進めて参ります。 				

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②既存公民館の整備・充実			中央公民館	B
施策の内容	既存の公民館については、市民が利用しやすい学習施設の充実を図るため、大規模改修工事等整備充実に努めます。				
平成27年度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事の実施件数は0件ですが、高階南・芳野公民館で屋上防水改修工事、南古谷公民館で外構整備工事をそれぞれ実施しています。 ・全公民館からの修繕等要望件数72件のうち修繕実施件数34件の実施です。 ・突発修繕を97件行っていますので、計131件の修繕等を実施しています。 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	修繕等要望件数の実施率(%)	37	23	47	
評価の理由	建築後30年以上の公民館が12館あり、予定外の突発修繕が多く、実施率は50%を下回っていますが、前年度と比較すると、2倍に上げることができました。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館は、移転改築のため現在、検討が進められています。 ・市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。 				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	C	B	B
	②既存公民館の整備・充実	中央公民館	B		
学識経験者等 学意	<p>既存公民館の整備・充実について、公民館は災害時の拠点にもなりうる場所であり、市民の避難の場でもあるので、学習施設としての利用も含めて、緊急時の避難場所として十分耐えうるように整備していただきたい。</p>				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①図書館サービス網の充実			中央図書館	A
施策の内容	「図書館サービス網計画」に基づき、市民が身近な場所で図書館サービスが受けられるよう分館整備を推進します。				
平成27年度実績	心身等の障害により図書館への来館が困難な市内在住者に対する図書館資料の郵送貸出サービスや、学校への団体貸出配送サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図りました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	4館延べ開館日数(日)	1,145	1,175	1,182	
	総貸出冊数(冊)	1,815,883	1,845,426	1,848,799	
評価の理由	南部地域の分館建設の見通しが立っていない状況ですが、利用者が利用しやすいよう、郵送貸出サービスや、学校への団体貸出配送サービスを実施し、図書館サービスの充実を図っています。				
改善の方策等	分館建設については、今後も状況を注視していくとともに、更なる図書館サービスの拡大に努めてまいります。				

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価				
細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実			中央図書館	B				
施策の内容	図書館サービスに関する多様な市民要望に応えるため、各分野の資料収集や学習・研究情報の提供サービス機能の充実に努めます。								
平成27年度実績	蔵書数は、中央図書館が497,798冊、西図書館が166,077冊、川越駅東口図書館が74,125冊、高階図書館が105,893冊で合計では843,893冊となっています。								
指標及び説明	【指標】 蔵書数		【説明】 川越市立図書館の所蔵資料数(図書だけでなく視聴覚資料なども含む)						
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26		H27
	冊	799,883	805,270	812,526	820,239	827,797	836,315	843,893	860,000
評価の理由	平成27年度実績は、843,893冊で、平成27年度目標値に対して73%の達成状況となり、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充するため、中央図書館の書架増設等について検討していきます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進							中央図書館	C
施策の内容	生涯にわたる学習活動の充実のため、市立図書館の資料だけではなく、県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力の拡大を図り、図書館のネットワークを活用して学習活動を支援します。								
平成27年度実績	市内の大学図書館との相互協力の拡充は図れませんでした。中央図書館主催事業「夜の図書館」で東邦音楽大学の学生によるミニコンサートを実施し、連携を推進しました。								
指標及び説明	【指標】 大学図書館との連携				【説明】 市内の大学図書館との相互協力校数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	校	1	1	1	1	1	1	1	2
評価の理由	市内の大学図書館との連携は現状にとどまりましたが、平成27年度においては「夜の図書館」事業で東邦音楽大学の学生によるミニコンサートを実施し、大学と図書館の連携の推進に努めました。								
改善の方策等	市内の大学図書館だけではなく、近隣市の大学図書館との連携を検討します。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービス網の充実	中央図書館	A	B	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	B		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	C			
学識経験者意見等	図書館資料・情報提供サービス機能の充実については、予算の確保に努めていただき、蔵書の充実を図っていただきたい。				B

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施策	①展示機能の充実							博物館	B
施策の内容	常設展示の見直しを行い、新たな学術成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室の見直しについては、職員間で具体的な検討を進めました。 ・展示としては、企画展「古代入間郡の役所と道」、「妖怪一闇にひそむ不可思議なるもの」、特別展「小堀遠州と川越藩主－遠州と酒井忠勝の交流を中心に－」、新作名刀展を開催しました。 ・博物館の入館者数は、98,025人で前年度に比べて約0.2%の減少となりました。 								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	人	89,022	77,163	90,746	94,318	91,357	98,205	98,025	100,000
評価の理由	常設展示の見直しについては、職員間で展示内容の具体的な検討を進めておりますが、事業着手時期が具体化されていないため課題が残っています。年間入場者数については、前年に比べ僅かに減少しましたが、目標値の年間入館者10万人に向けておおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、具体的な検討を引き続き継続し、今後スムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。 ・企画展の内容については、市民の関心・興味を把握し、時機を見据えたテーマが設定できるよう工夫していきます。また、他団体等との共催・共同企画も積極的に進めます。 								

施策の柱	(3)博物館の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施策	②郷土資料の収集・保存							博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足してきたため効率的な収蔵保管に努めるとともに、将来的な収蔵システムやスペースを検討します。 								
平成27年度実績	平成27年度は購入資料1点、寄贈資料69点を受入れ、収蔵資料の累計が37,816点となりました。また、寄贈・寄託等資料を整理し「収蔵文書目録(十四)」 「川越喜多町名主御用日記一」 「川越藩松平大和守家記録一」を作成しました。								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	点	35,850	35,972	36,644	37,031	37,573	37,746	37,816	40,000
評価の理由	資料収集については、収蔵スペースの不足のため大型民具に限って制限していますが、収蔵資料は全体として着実に増加しています。また、収蔵品展を開催し活用が図られているため、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料については、購入できない場合、寄託による収集を積極的に進めます。								

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							博物館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 小・中学校との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 大人向け事業の参加者数は1,789人、子ども向け事業は2,136人で、総計3,925人でした。 教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ92校・7,670人、市外262校・24,067人の総計354校・31,737人でした。 								
指標及び説明	【指標】 ①博物館の講座・教室の参加者数 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数				【説明】 ①博物館主催の講座・教室への参加者数 ②小中学校・高校・大学の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	① 人	3,194	2,970	3,000	3,776	3,691	3,589	3,925	3,400
	② 校	268	275	324	321	338	358	354	300
評価の理由	講座・教室の参加者総数は、開館25周年記念シンポジウムの開催で大幅に増加しました。子供向け事業では、総体験者数が前年比約6%増加しています。学校利用につきましては、県内の小学校を中心に活用され、目標値を大幅に上回っており、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	多くの講座等で応募者が定員を上回っていますが、今後も引き続き市民ニーズに配慮しながら内容を吟味し、併せて広報活動の充実を図ります。								

施策の柱	(3)博物館の整備・充実							担当課	担当課評価
細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備							博物館	B
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 博物館は、主に老朽化に伴う施設修理(屋上防水、屋根板金等)を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。 蔵造り資料館につきましては、平成26年度より耐震化事業に取り組んでおりますが、平成27年度は耐震化工事実施設計を行いました。 								
成果実績	項目名(単位)		H25	H26	H27				
	施設・設備の修繕件数(件)		18	31	20				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 博物館については、機能を維持するための応急的な修繕を実施してきましたが、未だ老朽・損朽による修繕必要箇所を多く抱えており、施設整備が遅れています。 蔵造り資料館につきましては、耐震化工事に向けて実施設計を行い、順調に進ちよくしています。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮するためには、施設の適切な維持が必要なため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めます。 蔵造り資料館につきましては、平成26年度よりはじまった耐震化事業を進めます。 								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(3) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	B	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	A		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者 意見等	来館者が増え、職員の対応も難しくなっていると思われるため、多くのボランティアを育成して、ボランティアを取り入れた活動を進めていただきたい。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進						担当課	担当課評価	
細 施 策	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)						文化スポーツ部 文化芸術振興課	A	
施策の内容	市民の高度で体系的な学習要求に対応するために、近隣大学(市内4大学・市外1大学)との連携により市内各大学施設等を活用し、市民のリカレント教育の機会の拡充を図ります。								
平成27年度 実績	市内の3大学と連携講座を実施し、362人の参加がありました。東洋大学との連携講座のテーマは「めげない力を高めて元気に生きる～ポジティブ心理学とレジリエンス～(5回)」で受講者は83人、東邦音楽大学は「楽器何でも百科」完結編(3回)で45人、尚美学園大学は「モーツァルトオペラの楽しみ(1回)」で234人の参加がありました。								
指標及び説明	【指標】 川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座の開催)				【説明】 川越シティカレッジの年間開催数 (平成24年度より川越大学間連携講座の年間開催数)				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	回	5	6	6	2	4	4	3	6
評価の理由	平成23年度までの川越シティカレッジでは、5大学6キャンパスで各1講座を目標に実施しましたが、平成24年度からは、市内の4大学との連携講座として実施しています。平成27年度は、1大学との開催ができませんでしたが、参加した受講者の数が平成26年度の251人から362人と大幅に増加したため、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	各大学と連携を密にし、市内4大学と連携講座を実施するとともに、よりよい講座を提供できるよう努めます。								

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進						担当課	担当課評価
細 施 策	②大学と連携した人材の育成						文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	市内各大学との連携により、地域の課題に対応した専門的な知識・技能やマネジメント能力を有する人材を育成します。							
平成27年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越シニア大学「小江戸塾」と連携して「ふるさと塾」を開催しています。「ふるさと塾」は、地域の生涯学習ボランティアとして公民館や学校での体験学習・支援活動に関わるシニアの人材育成を目的としています。平成27年度は、「ふるさと塾」の講座は全14回行い45人が受講しました。講座の一部は大学施設を利用して大学教授を講師として実施しました。 川越市と市内大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、東洋大学と2回連携会議を開催しました。 							
成果実績	項目名(単位)	H25		H26		H27		
	ふるさと塾開催数(回)	1		1		1		
評価の理由	「ふるさと塾」の講座の中で一部大学と連携した講座を実施し、おおむね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	大学との連携を進める中で人材育成に関する講座等を検討します。また、市民活動・生涯学習施設において指定管理者が実施する事業についても、大学と連携し、人材の育成を視野に入れた事業の実施について提案・検討します。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座 として開催)	文化芸術振興課	A	A	A
	②大学と連携した人材の育成	文化芸術振興課	B		
学識経験者 意見等	川越大学間連携講座については、多くの参加者が集まるような魅力ある講座を 続けていただきたい。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用							担当課	担当課評価
細 施策	①文化財の保護と活用							文化財保護課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見いだし指定します。 ・文化財の保護に努めるとともに、文化の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・地域の文化財をその周辺環境も含め、総合的に保存活用していくための基本構想を策定します。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財数266件(前年度比101%) ・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:4件(前年度比200%) 試掘調査件数:83件(前年度比115%) ・その他文化財調査件数:11件(前年度比92%) ・埋蔵文化財出土品貸出件数:11件(前年度比:110%) 								
指標及び説明	【指標】 指定等文化財数				【説明】 市、県、国指定等文化財数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
	件	246	H22 250	H23 252	H24 256	H25 257	H26 264	H27 266	255
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新指定文化財等として新たに2件が指定されました。 ・埋蔵文化財の試掘調査件数は増加し、記録保存のための発掘調査は適切に行われました。 								
改善の方策等	埋蔵文化財の活用にあたり、調査期間中の現地説明会の開催等により広くその重要性の周知を図ります。また、学校との連携を図り出土品の貸出しや出前講座等を推進します。								

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用							担当課	担当課評価
細 施策	②文化財保護意識の啓発							文化財保護課	B
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に周知し理解を深めるために、文化財保護意識の啓発に努めます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・最新遺跡発表会参加者数:69人(前年度比133%) ・文化財防火訓練参加者:115人(前年度比112%) ・職員の講師派遣:4回(前年度比:22%) ・啓発用刊行物(新規・改訂):なし 								
成果実績	項目名(単位)		H25		H26		H27		
	最新遺跡発表会参加者数(人)		32		52		69		
	啓発用刊行物の新規・改訂 刊行数(件)		1		0		0		
評価の理由	最新遺跡発表会参加者、文化財防火訓練参加者が増加しており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業の開催等に関わる広報をより広く展開します。 ・文化財保護活動団体や学校等と積極的に協働を図りながら、文化財保護意識の啓発に努めます。 								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	③民俗文化財の保存と後継者の育成			文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 後継者養成を積極的に支援します。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越氷川祭の山車行事保存会の開催回数(研修会含む):5回(前年度比125%) 民俗文化財保存修理の補助事業件数:6件(前年度比200%) 無形民俗文化財後継者養成の補助事業実施団体数:16団体(前年度比100%) ※1 民俗文化財保存修理事業件数/無形民俗文化財の道具及び民俗芸能等に関わる有形文化財の件数(36件) ※2 後継者養成事業実施団体数/無形民俗文化財保存団体数(18件)				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	民俗文化財保存修理率(%) ※1	6	8	17	
	後継者養成事業実施団体率(%) ※2	83	89	89	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の保存継承に必要な会議を実施しました。また、継承していくために必要な道具等の保存修理を計画的に進めました。 後継者養成事業については、補助申請のあった団体に対して、すべて補助ができました。 後継者育成の仕組みを確立することに課題がありますが、おおむね順調に進ちよしています。 				
改善の方策等	保存団体と協力しながら、民俗文化財への理解が深まるような発表の場が更に増えるように努めます。また、後継者育成の仕組みを確立するよう努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価				
細 施 策	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実			都市景観課	A				
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的建造物の保存修理を計画的に実施し、地区の特性を生かした歴史的風致の維持・向上に努め、重要伝統的建造物群保存地区の保存整備を行います。 地区のPRや関連する事業との調整を行います。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 保存修理事業(国庫補助対象)/原家住宅店棟及び住居棟：屋根、外壁 山屋渡り廊下及び杉の間：屋根、柱、床 金大主屋及び土蔵：屋根、外壁 中市本店主屋：屋根 修景事業(国庫補助対象)/坂重薬局新築 伝統的建造物の追加特定/星野・田中両家住宅店棟、市ノ川家住宅主屋 地区の啓発パンフレット作成/建造物MAP、防災ガイド、許可の流れ、修理・修景等事例 								
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数累計			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の件数					
	単位	現在値(H21)	実 績 値					目標値(H27)	
指標の推移			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	件	34	38	41	46	51	57	61	55
評価の理由	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が目標値を上回っており、順調に進ちよしています。								
改善の方策等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業			文化財保護課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財保存(維持管理・保存修理)の補助事業実施件数:29件(前年度比116%) 指定文化財管理報償金支給件数:143件(前年度比103%) 永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者人数 :1,714人(前年度比95%) ※1 指定文化財保存事業実施件数(民俗芸能関係除く)／指定文化財件数(登録・重要美術品を除く指定文化財のうち民俗文化財(有形・無形)を除く民間所有の文化財件数:212件)				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	指定文化財保存事業実施率(%)※1	13	12	14	
	川越城本丸御殿・蔵造り資料館・永島家住宅入館者数(人)	216,151	216,710	236,196	
評価の理由	有形文化財の保存のための補助事業は、所有者からの申し出通り補助ができました。また、文化財管理者に対し管理報償金を支給して、適切な維持管理ができました。教育委員会が所管する3件の文化財の入館者数の合計は昨年より増加し、公開事業は順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と文化財の価値を高め、いく保存を継続して推進し、その上で文化財の活用を推進します。市所有の文化財についても、他課と連携して適切に維持管理し、更に活用が進むように努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価			
細 施 策	⑥河越館跡地等の整備・活用			文化財保護課	C			
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO、大学等と協働してその有効活用を図ります。							
平成27年度実績	史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました。(1件)							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①河越館跡地の史跡公園整備率 ②国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計			①指定史跡面積中の公有化面積に占める整備面積の割合 ②河越館跡史跡公園を利用した事業の総数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	① %	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4
② 件	0	1	2	1	1	1	1	5
評価の理由	史跡公園を活用したイベントは、地元自治会・保存会を含む実行委員会形式で流鏝馬を実施しました。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後の整備に向けて、発掘調査等から得られた成果の精査・検討を進めていきます。 今後の活用として、市主催の他に地元住民や隣接する小学校等が主催するような事業が実施されるように調整を図ります。 							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財の保護と活用	文化財保護課	A	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	文化財保護課	A		
	⑥河越館跡地等の整備・活用	文化財保護課	C		
学識経験者等 意見等	<p>・町並みの保存や整備については、所有者と連携を図りながら、できるだけ現在の町並みを保存する方向で整備を進めていただきたい。</p> <p>・民俗文化財については、地域の大切なお祭りであるので、後継者の育成に努めていただきたい。</p>				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価
細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	さまざまな団体や人々との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、本市にふさわしい新しい文化芸術の創造に努めます。				
平成27年度実績	平成27年度は①大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、②川越市総合文化祭、③川越市民文化祭、④川越市美術展覧会、⑤文芸川越の発行、⑥2音大クラシック・コンサート等の文化芸術事業を実施しました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	文化芸術団体との協働による文化芸術事業件数(件)	7	7	6	
評価の理由	市内外の文化芸術団体との連携・協働により、文化芸術に関わる事業を実施しています。恒例となっている事業も多く、市民への周知が図られ、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本市の文化芸術団体等と連携し、新たに開館した川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウェスタ川越)大ホール等とその他市内各文化施設の特性を活かした新しい文化芸術事業を実施するように努めていきます。				

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価			
細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A			
施策の内容	新しい価値観を持つ若い世代の方々が、中心的に活躍してもらう環境を整え、文化芸術事業に積極的に参加・活動してもらうための事業を検討します。							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中高生や近隣大学生の参加を得て「大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」を、また、尚美学園大学と東邦音楽大学と連携して「2音大クラシック・コンサート」をウェスタ川越大ホールにて開催しました。 ・平成27年度から文化芸術振興課において「高校生小説大賞」を実施しました。 ・平成26年度から「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定しました。 							
指標及び説明	【指標】 若い世代の参加事業の取組		【説明】 若い人向けイベント年間開催数(ホールを利用したイベント)					
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	回	0	0	1	2	2	2	2
評価の理由	「大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」、「2音大クラシック・コンサート」は、若い世代が中心的に活躍できる事業として、地域の中高生も参加し、盛大に開催することができました。目標値は達成し、順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	若い世代が積極的に参加できる事業の企画や学生料金の設定など、若い世代が文化芸術事業に参加しやすい環境づくりに努めます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興							担当課	担当課評価
細 施 策	③特色ある文化芸術拠点の整備							文化スポーツ部 文化芸術振興課 美術館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に計画中的の新ホールは、良質な芸術の鑑賞機会を提供するなど、市民はもちろん県西部地域の人々に親しまれる施設として整備します。 ・市立美術館は、質の高い芸術作品に触れる場とするとともに、市民の文化芸術活動の創作・発表の場として、整備充実を図ります。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月1日に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールを供用開始しました。 ・美術館については、 <ul style="list-style-type: none"> ①実績値は平成26年度を上回っており、目標値を達成しています。 ②実績値は前年度と同様であり、平成24年度以降、目標値を達成しています。 ③実績値は前年度を下回っており、目標値を下回っています。 								
指標及び説明	【指標】 ①教育普及ボランティアの活動実施 ②市民ギャラリーの利用促進 ③創作室の利用促進				【説明】 ①美術館市民ボランティアの活動回数 ②市民ギャラリーの利用年間稼働数 ③創作室の年間利用稼働率				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	①回	0	20	26	49	62	40	54	20
	②週稼働	45	49	42	51	49	49	49	47
③稼働率/%	46.6	44.0	43.0	43.9	47.1	49.0	40.2	65.0	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールが平成27年7月1日に供用を開始し、指定管理者等による様々な事業が行われるなど順調に進ちよくしています。 ・美術館については、 <ul style="list-style-type: none"> ①教育普及ボランティアの活動は、目標値を大幅に上回っており、順調に進ちよくしています。 ②実績値は平成24年度以降、目標値を上回っており、順調に進ちよくしています。 ③実績値が基準年度から減っているため、進ちよくはあまり順調ではありません。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールでの良質な芸術鑑賞の機会が提供できるよう、指定管理者との協議を今後も引き続き進めます。 ・美術館については、 <ul style="list-style-type: none"> ①教育普及ボランティアの活動については、より参加の機会を増やし、自主性を持って活動できる内容になるよう工夫するとともに、継続して取り組んでいただくことができるよう努めていきます。 ②市民ギャラリーの利用については、さらに多くの団体が利用できるよう有効活用に努めていきます。 ③創作室の利用については、川越市立美術館ホームページ等を通じて、周知を図っていきます。 								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	A		
③特色ある文化芸術拠点の整備	文化芸術振興課・美術館	B			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエスタ川越については、利便性もあり良い施設であると思うが、時間帯を工夫するなど、さらに利便性を高めて、より多くの方が利用しやすい施設となるよう検討していただきたい。 ・川越らしい文化芸術の振興については、市内大学や、民俗芸能などの文化財等といった資源をさらに活用し、川越らしさをもっと大きく出していただきたい。 				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価
細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり			文化スポーツ部 美術館	B
施策の内容	市民に良質な音楽、舞台芸術の鑑賞、また、市民のための文化芸術の発表と鑑賞など、身近なところで気軽に文化芸術に触れることができるために環境整備に努めます。				
平成27年度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展を4回開催しました。※(春)昭和のこども (夏)ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 (秋)ペインティングの現在 (冬)この絵、私が持っていました。 ・常設展を年4回開催しました。※小特集を組んだ展示替えを行いました。 ・タッチアートコーナーにおいて、年4回の企画展示を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	常設展観覧者数(人)	36,693	38,934	33,269	
	特別展観覧者数(人)	26,706	28,718	23,653	
評価の理由	常設展及び特別展の実績値は前年度を下回りましたが、公立美術館でなくてはできない地域の文化芸術について調査研究を行い、新たな川越の魅力を広く市民に公開することができたため、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース等を通じて、広く周知を図ります。				

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価			
細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり			文化スポーツ部 美術館	B			
施策の内容	次代を担う子どもたちが文化芸術に親しんでもらうために、鑑賞するだけでなく、文化芸術に触れ、体験する事業を促進します。							
平成27年度 実 績	①次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やすため、毎月テーマを変えたワークショップを実施しました。 ②中学校美術部の祭典を実施するとともに、準備期間中には、中学校美術部員を対象とした講習や特別展の鑑賞、模写を行う活動も実施しました。 ③川越市から県展覧会に出品された特選作品を一堂に展示し、広く市民等に鑑賞していただきました。							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①ジュニアアートスクエアの開催 ②川越市立中学校美術部の祭典の開催 ③小中学生県特選美術作品展の開催			①子どものプログラムの実施回数 ②美術部展に参加している学校の数 ③展覧会の入場観覧者数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	①回	0	9	12	12	10	12	12
	②校	17	17	18	20	21	20	21
③人	367	360	313	330	274	823	329	700
評価の理由	①②実績値からおおむね順調に進ちよくしています。 ③平成26年度からは大幅に減少しています。							
改善の方策等	①より内容を充実させたプログラムを企画し、継続して実施していきます。 ②円滑な運営に努め、質の高い展示を行っていきます。 ③他の事業と同時開催するなど、開催方法の工夫に努めていきます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	美術館	B	B	B
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	美術館	B		
学識経験者等 意見	<p>・子どもたちに人気のある催しについては、ボランティアを活用するなど、できるかぎり参加できるようにしていただきたい。</p> <p>・美術館が遠くて足を運べないため、学校に来ていただくなど、文化芸術に触れる機会づくりを検討していただきたい。</p>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進							担当課	担当課評価
細 施 策	①文化芸術活動への支援							文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を行う団体等への支援を継続するとともに、市民から寄せられる情報を効率的に収集し、適切に発信するよう努めます。 文化芸術の分野で顕著な成果を収めた人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を促進します。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①市民文化祭の開催、②地区文化祭への補助金交付、③市美術展覧会の開催、④文芸川越の刊行、⑤2音大クラシック・コンサートの開催、⑥川越市総合文化祭の開催等、市民の文化芸術活動を支援する事業を行いました。 平成28年1月に川越市文化スポーツ顕彰要綱を策定しました。 								
指標及び説明	【指標】 文化芸術の支援				【説明】 文化芸術を発表する機会の年間事業数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
	事業	4	H22 5	H23 6	H24 7	H25 7	H26 6	H27 6	5
評価の理由	文化芸術団体への支援として、各種事業を各団体と連携して実施しました。目標値は達成しており、目標値を超えており、事業は順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	今後も、文化芸術を行う団体等への支援を継続し、市民の文化芸術活動の促進に努めます。								

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進							担当課	担当課評価
細 施 策	②文化芸術活動の場の整備							文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	市民が身近なところで発表ができ、また、文化芸術の鑑賞ができるよう、施設及び場の整備に努めます。								
平成27年度実績	平成27年6月28日に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールの柿落とし公演を開催しました。その後も指定管理者による管理・運営が行われております。								
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27					
	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)管理運営検討部会開催件数(件)	10	2	0					
評価の理由	平成27年度に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)が開館し、順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	今後は、川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)の円滑な管理・運営を図るため、指定管理者と協議をしております。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進							担当課	担当課評価
細 施 策	③文化交流の促進							文化スポーツ部 文化芸術振興課 国際文化交流課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の意見交換の場を設定し、ネットワークの強化を図ります。 中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を促進します。 								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の交流を図るため、平成26年度まで市民会館で開催していた「総合文化祭開会式」を発展させ、ウエスタ川越で「川越市総合文化祭」として、川越市文化団体連合会、川越美術協会及び各文化芸術活動団体の協力により、開催しました。 セーレム市訪問中学生交流団22人の派遣を実施いたしました。 								
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数				【説明】 市民の文化活動を促進するための文化施設の利用者 (ここでいう文化施設とは川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール及び川越市立美術館) ※平成27年6月末日をもって川越市市民会館が閉館している ※()内の数字は、川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(平成27年度より供用開始)の利用者数を加えたものである				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実 績 値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	人	593,643	569,301	537,052	590,295	555,479	580,107	436,240 (734,053)	1,000,000
評価の理由	平成27年度に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)が開館し、平成26年度までより利用者数が増加しており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	総合文化祭実行委員会を組織するなど、文化芸術団体のネットワークの強化に努めています。今後、文化芸術団体間の更なる交流の機会の設定や、各団体の情報等の提供に努めてまいります。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	A	A	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	A		
③文化交流の促進	文化芸術振興課・国際文化交流課	B			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ウエスタ川越のホールがなかなかとれないようであるが、市立小中学校の合唱祭等の催しについては、ウエスタ川越のホールが利用できるように検討していただきたい。 川越市文化スポーツ顕彰については、市民の励みになるので実施していただきたい。 ウエスタ川越の運営については、指定管理者制度のメリットを生かしつつ、デメリットを補完しながら、長期的に快適な環境を維持できるように努めていただきたい。 				A

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価
細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	外国籍市民と日本人市民は、同じ地域社会を構成する一員として、共生していくという意識を持つことが大切であり、異なる文化を理解し、相互に尊重し、相互に助け合うことができるよう、具体的な交流や国際理解教育を進めて共生意識を醸成していきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報川越の内容を抜粋し、月1回英語版広報川越を発行しました。 ・外国籍市民会議を開催し、市長へ報告を行いました。 ・国際理解講座(1講座)を開講しました。 ・外国籍市民相談として、生活相談(中国語及びポルトガル語)を月各2回、法律相談、行政書士相談を月各1回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	英語版広報川越の発行(回)	12	12	12	
	外国籍市民会議の開催(回)	6	6	6	
評価の理由	月1回の英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催、外国籍市民相談などを定期的に行っており、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も共生意識を醸成するような事業を定期的に行うとともに、外国籍市民相談と法テラスとの連携を検討してまいります。				

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価					
細 施 策	②留学生の支援			文化スポーツ部 国際文化交流課	B					
施策の内容	国際交流センター受付業務の提供、インターンシップ制度の普及、一般市民との触れ合いを通じての相互理解の場などを提供し、留学生を支援します。									
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センター受付業務を留学生(東京国際大学・尚美学園大学)に依頼しています。 ・国際交流センターにインターネットコーナーを設置し、留学生の情報収集に活用されています。 ・外国籍市民会議の委員として留学生に参加してもらいました。 									
指標及び説明	【指標】 国際交流センター利用人数			【説明】 国際交流センターの開館日1日あたりの利用者数						
	指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)		
H22				H23	H24	H25	H26		H27	
		人	84	73	68	64	56	55	57	120
評価の理由	留学生に対する支援として、国際交流センターの受付業務に関わる人数、外国籍市民会議委員への留学生の参加数など、おおむね順調に進ちよくしています。									
改善の方策等	留学生のインターンシップ制度や、卒業後に市内での就労を希望する留学生が市内企業に就職できるような取組を検討してまいります。									

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 行政の国際化			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 留学生の支援	国際文化交流課	B		
学識経験者 意見等	外国籍市民相談については、対応言語と回数を増やす方向で検討していただきたい。また、広報紙についても、色々な言語に対応できるようになるとよいと思う。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	①人材の開発と育成			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	海外勤務経験者、帰国子女、教員、外国籍市民などさまざまな経歴を有する優れた人材を発掘し、地域の国際化の担い手として育成します。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員養成講座を従来の数年に渡るカリキュラムから1年4期のプログラムに見直し、外国籍市民に日本語を教えられる人材の育成に努めました。 川越市外国籍市民国際人材ネットを募集しました。 日本語講座「クラスで日本語」において、外国籍市民のための日本語教室を毎週3日(月・金・土)、午前、午後、夜間に開催しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	日本語指導員養成講座参加者数(人)	358(2講座)	412(3講座)	1083(4講座)	
	川越市外国籍市民国際人材ネット年度末登録者数(人)	35	39	38	
評価の理由	日本語指導員養成講座が年度内で完結するカリキュラムになり、参加者数は増加となりました。また、講座を修了された方の中には、外国籍市民のための日本語教室に参加する方もおりました。一方、外国籍市民国際人材ネットの登録者につきましては3年に1度の継続確認をした結果、若干減となりましたが、小中学校や公民館での講師活動等は、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	外国籍市民国際人材ネットについては、引き続き登録者や活用方法について、積極的にPRを行ってまいります。また、日本語指導助手など海外で活動された方等の活用を検討してまいります。				

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	②NGOなどとの協力と連携			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	国際交流や国際協力に取り組む市民団体、外国籍市民を支援する市民団体等と連携・協力し、地域の国際化を推進していきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民を支援する市民団体等が行う、国際貢献事業に対する補助金の交付を行いました。 市民団体が主催する日本語教室等を毎週12講座、中国語教室を年間36講座を連携して実施しました。 市民団体が主催する「かわごえ国際交流フェスタ」を連携して実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	国際貢献事業補助金(件)	4	3	4	
	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数	5,911	6,460	6,742	
評価の理由	国際貢献事業補助金、市民団体と連携した講座等の延べ参加者数は前年度より増加しており、ともにおおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本補助金制度を広く周知し、国際貢献事業が多く実施されるよう、市民団体等を支援してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の国際化推進体制の整備			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置し、社会的に認知されるまでの間、行政が支援していきます。				
平成27年度実績	国際貢献事業補助金を申請する団体や窓口に来られた団体から、活動内容についての話を伺うなど、川越市内の市民の国際交流団体の状況把握に努めました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	国際貢献事業補助金利用団体数	4	3	4	
評価の理由	国際貢献事業補助金は申請に至らないケースであっても、相談を受けるなかで国際交流団体の活動内容について把握するなど、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後、川越市内で活動している地域の国際交流団体の把握に努め、他市の状況についても調査・研究し、市民活動による地域の国際化が推進されるよう検討してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2) 国際感覚に優れた市民の育成				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①人材の開発と育成	国際文化交流課	A	B	
	②NGOなどとの協力と連携	国際文化交流課	B		
③地域の国際化推進体制の整備	国際文化交流課	B			
				B	
学識経験者等意見	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数は増えているが、今後も市民のニーズに応えた多様な言語に対応した講座等の開催に努めていただきたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実							担当課	担当課評価
細 施 策	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化							文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流を一層発展させるため、川越市姉妹都市交流委員会との連携を図り、支援します。 ・姉妹都市交流の有効活用を通じて、市民に国際交流の場を提供し、青少年の国際理解を推進します。 								
平成27年度実績	セーレム市訪問中学生交流団の派遣、姉妹都市提携30周年記念セーレム市訪問団の受入れ、オッフエンバッハ市青少年交流団の受入れ、市立川越高校のノースセーレム高校訪問、日独ビジネス研修生相互派遣を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 姉妹都市(海外)間の交流数				【説明】 海外姉妹都市との年間交流回数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
	件	3	H22	H23	H24	H25	H26	H27	14
評価の理由	周年行事があり、通常より交流事業が多い年となりました。また、7年ぶりにオッフエンバッハ市青少年交流団を受入れるなど、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	海外姉妹都市との交流については、時期や規模・費用の面から、目標値の達成は厳しい状況にはありますが、実施に向けてさまざまな交流方法を研究・検討してまいります。								

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実							担当課	担当課評価
細 施 策	②新しい地域、都市との交流創出							文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	身近なアジアの地域とは、政治・経済・歴史・文化などさまざまな分野で相互理解し、発展するために、より質の高い交流・協力関係を構築していきます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流委員会において、川越市における今後の方向性について研究しています。 ・川越市日中友好協会の主催する中国語講座を連携して実施しました。 ・川越市外国籍市民会議の委員がアジア出身者で8割の構成となっており、交流協力関係を築いています。 ・国際交流センターの受付業務をアジアからの留学生にも携わってもらいました。 ・タイ王国の水かけまつりやアジアフェスなどアジアとの交流を支援しました。 								
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27					
	川越市姉妹都市交流委員会(回)	2	2	2					
評価の理由	姉妹都市交流委員会において、アジア地域との新たな交流について調査・研究を進めており、また、アジアに関連した講座の共催やさまざまな交流を行っており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	アジア地域との交流については、姉妹都市という関係にとらわれない新たな交流の方法を探り、市民に更なる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めてまいります。また、他市の状況等も調査し、今後、取り組むべきアジア地域との交流に向けて、調査・研究していきたいと考えております。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹都市交流の更なる充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	国際文化交流課	B	B	B
	②新しい地域、都市との交流創出	国際文化交流課	B		
学識経験者等 意見	特になし				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱	(1)スポーツ活動の推進							担当課	担当課評価
細 施策	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成							文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	誰もが、いつでも、どこでもスポーツに取り組めるようにするため、各地域で自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・自立を支援していきます。								
平成27年度実績	福原地区における「総合型地域スポーツクラブ」の設立を目指し、準備委員会等を継続的に開催しました。また、先進クラブの視察や地域住民のニーズに応じたスポーツ教室を開催し、「総合型地域スポーツクラブ」の設立に向けた準備を進めてきました。								
指標及び説明	【指標】 総合型地域スポーツクラブの設置数				【説明】 市内に創設された総合型地域スポーツクラブの数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	件	2	2	2	3	3	3	3	5
評価の理由	福原地区における「総合型地域スポーツクラブ」が「ふくはらスポーツクラブ」として発足し、平成28年4月から活動を開始しました。本施策全体としては、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	今後も、継続してほかの地域にも総合型地域スポーツクラブを設置できるように、情報提供を図っていきます。								

施策の柱	(1)スポーツ活動の推進							担当課	担当課評価
細 施策	②スポーツ教室・大会等の充実							文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	スポーツへのきっかけをつくり、継続していくことができるようにするため、魅力あるスポーツ教室・大会等の充実を図っていきます。								
平成27年度実績	スポーツ実施率は、昨年度に比べて減少しましたが、より多くの方がスポーツに親しむことができるよう、さまざまなスポーツ教室や「生涯スポーツフェスティバル」「小江戸川越ハーフマラソン2015」等の特色ある大会を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 スポーツ実施率(成人の月1回以上のスポーツ実施率)				【説明】 成人における月1回以上スポーツを実施した人の割合				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	%	46.8	調査実施なし	65.2	47.9	67.8	63.5	47.2	60.0
評価の理由	スポーツ実施率が昨年度に比べて減っておりますが、各教室・大会等は内容を充実させながら実施しており、本施策全体としてはおおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	市民のスポーツに対する実態やニーズを考慮し、各教室・大会の内容の更なる充実を図っていきます。								

【方向性】 V－生涯スポーツの推進

【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱		(1) スポーツ活動の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成	スポーツ振興課	B	B	B
	②スポーツ教室・大会等の充実	スポーツ振興課	B		
学識経験者等 意見	特になし				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進
 【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱	(2)スポーツ環境基盤整備			担当課	担当課評価
細 施策	①スポーツ指導者等の養成・活用			文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	各スポーツ団体等を育成・支援するとともに、市民のニーズに合わせて適切な指導ができるようにするため、スポーツ指導者の養成に努め、その活用を図ります。				
平成27年度実績	体育協会加盟団体が、それぞれの種目ごとに技術講習会や審判講習会を行い、適切な指導ができるようにスポーツ指導者の養成に努めました。また、スポーツ少年団の指導者に対し、認定員を養成する講習会を行いました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	指導者養成講習会実施団体数(団体)	30	30	30	
	スポーツ少年団スポーツリーダー養成講習会(人)	70	77	98	
評価の理由	体育協会加盟団体31団体中30団体が指導者養成講習会を行っています。また、スポーツ少年団の認定員養成講習会も定員以上の申し込みがありました。上記団体以外にもスポーツ推進委員連絡協議会や女性スポーツ団体連絡協議会でも、指導者養成のための研修を行っており、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	講習会や研修会の内容が、市内各地域や各団体で生かすことができるよう、スポーツ指導者の活用について今後検討していきます。				

施策の柱	(2)スポーツ環境基盤整備			担当課	担当課評価
細 施策	②スポーツ施設等の整備・充実			文化スポーツ部 スポーツ振興課	B
施策の内容	スポーツ活動の場を確保するため、既存スポーツ施設の計画的な整備・改善、新設体育館の建設に取り組みます。				
平成27年度実績	既存スポーツ施設については、川越運動公園テニスコート人工芝張替工事等の改修工事を行いました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	主な運動施設の修繕件数(件)	64	85	90	
	新設体育館検討会議の開催数(回)	1	2	0	
評価の理由	既存スポーツ施設の改修工事や修繕が計画的に行うことができ、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	新設体育館の建設等については、予算が伴うことから、予算の確保に努めていきます。				

【方向性】 V－生涯スポーツの推進

【施策】 1 生涯スポーツの推進

施策の柱		(2) スポーツ環境基盤整備			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①スポーツ指導者等の養成・活用	スポーツ振興課	B	B	B
	②スポーツ施設等の整備・充実	スポーツ振興課	B		
学識経験者等 学意 識 見 者 等	<p>スポーツ指導者の養成・活用については、昨今、中学校の部活動の指導者不足が問題となってきているので、スポーツ指導者の部活動への活用について研究していただきたい。</p>				